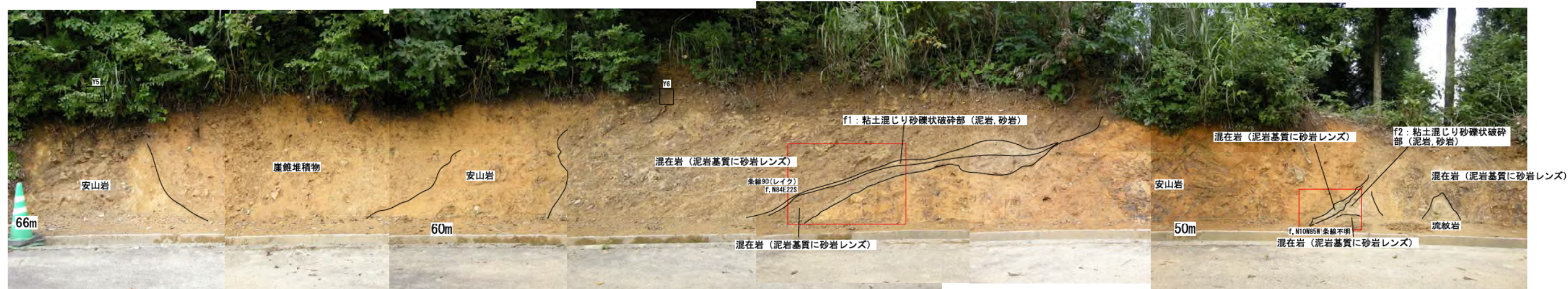


W

E



W

E



W

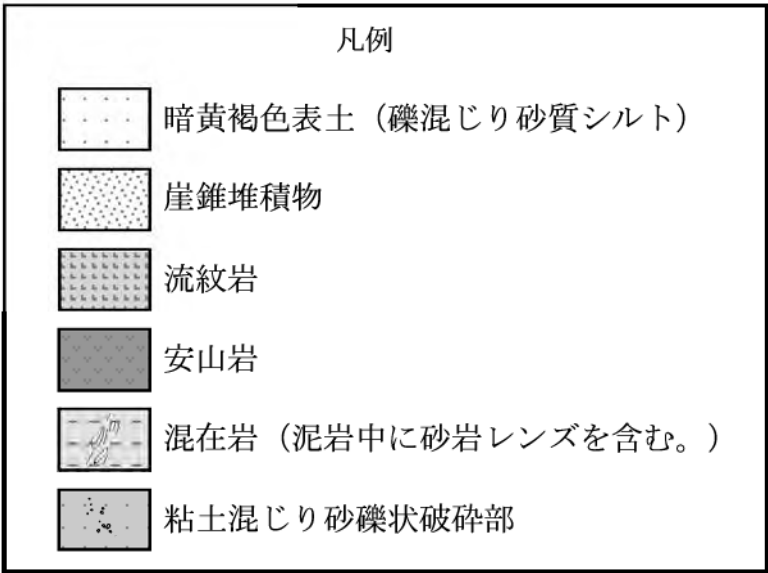
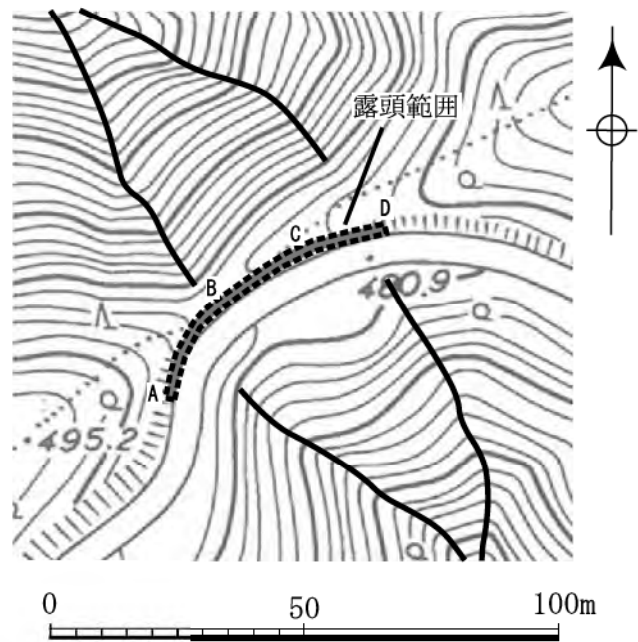
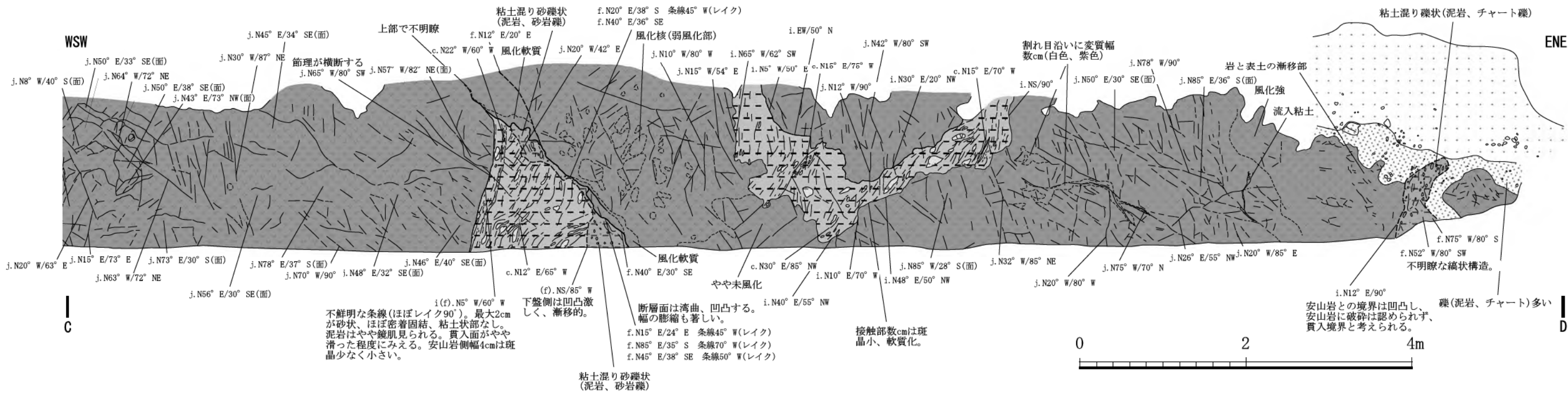
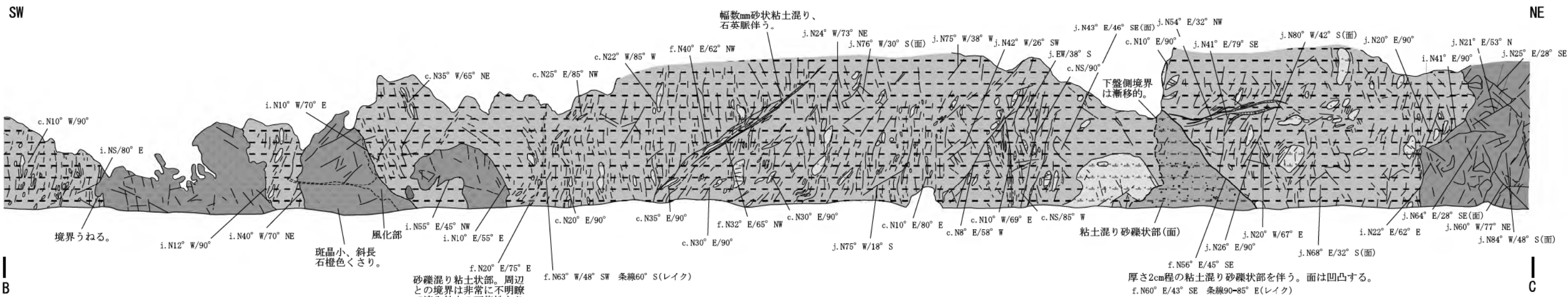
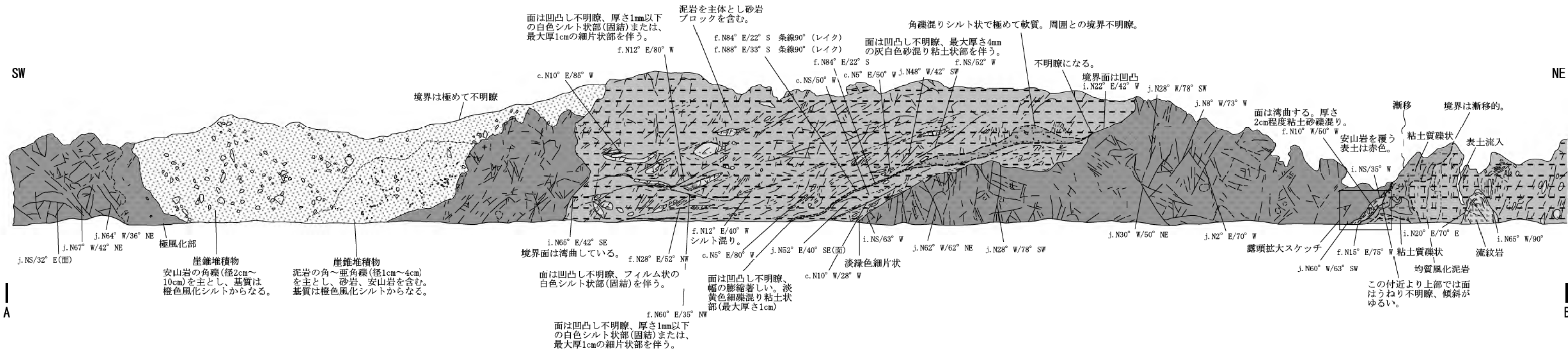
E



凡 例

f.N40E82W:断層面の走向・傾斜

約2m

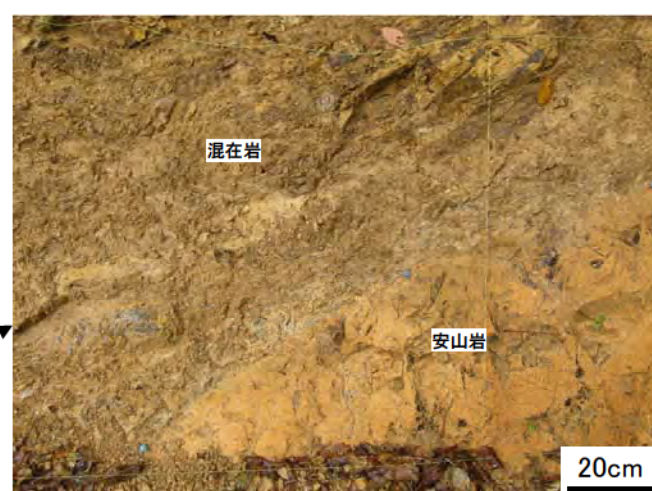
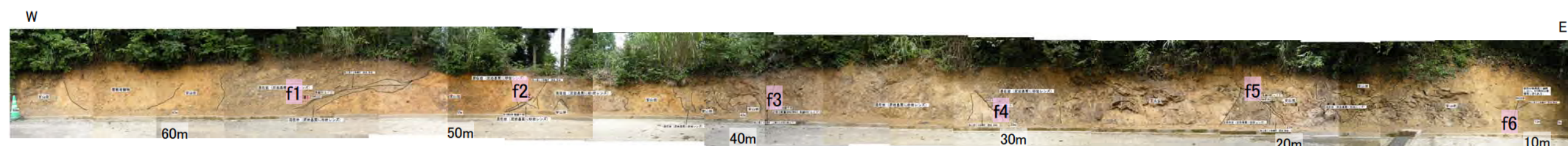


c. N30° E/85° NW : 劈開面の走向/傾斜 (偏角未補正)
 i. N10° E/70° W : 貫入面の走向/傾斜 (偏角未補正)
 j. N32° W/85° NE : 節理面の走向/傾斜 (偏角未補正)
 f. N40° E/30° SE : 断層面の走向/傾斜 (偏角未補正)

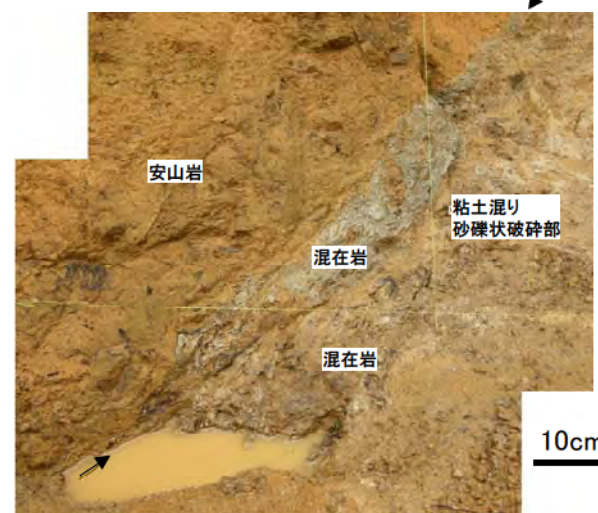
「j. N85° W/28° S(面)」の(面)は露頭方向とほぼ平行なためスケッチでは線として表現していないもの。

リニアメントを横断する林道法面において剥ぎ取り調査を実施し、約50m間に岩盤が連続して露出した。岩盤は美濃-丹波帯の中・古生層の混在岩(泥岩を主体とし、砂岩のレンズを含む。)とそれに貫入した安山岩岩脈(一部流紋岩)からなる。これら岩盤中には小規模な破砕帯が数箇所で見られた。いずれの破砕帯も走向はリニアメント方向とは一致せず、破砕帯は膨縮、湾曲し、活断層の破砕帯に特徴的な明瞭な面構造のある粘土状破砕部、連続性の良い平面的な断層面は認められない。

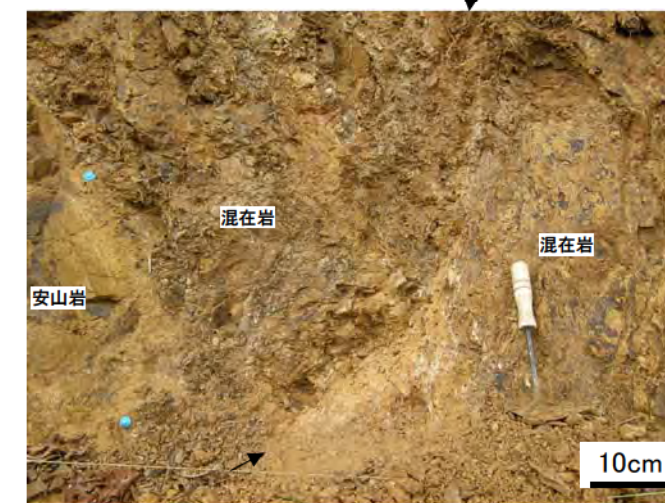
第1.3.47図 山中断層 山中峠南東方付近剥ぎ取り箇所の露頭スケッチ (Loc. Kt-7)



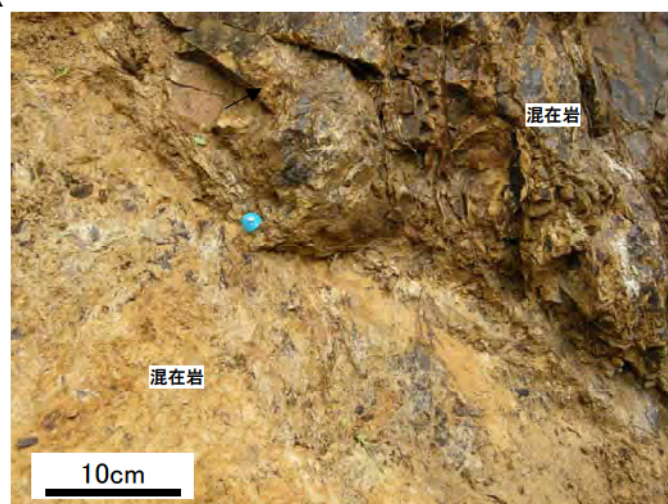
f1:粘土混じり砂礫状破碎部(走向N84° E、傾斜22° S)



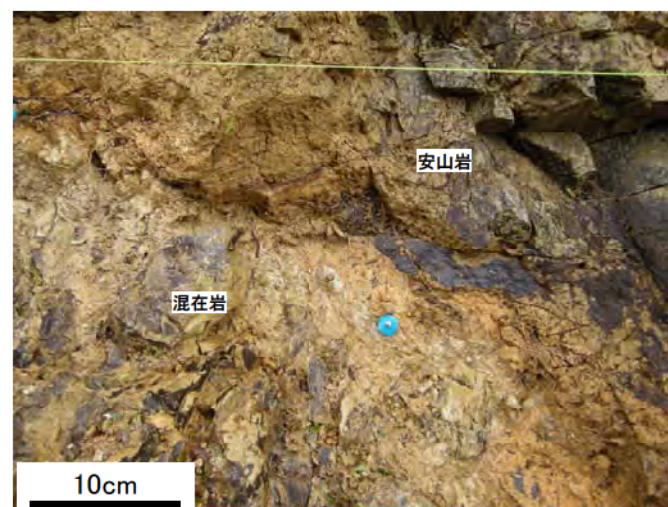
f2 :粘土混じり砂礫状破碎部(走向N10° W、傾斜85° W)



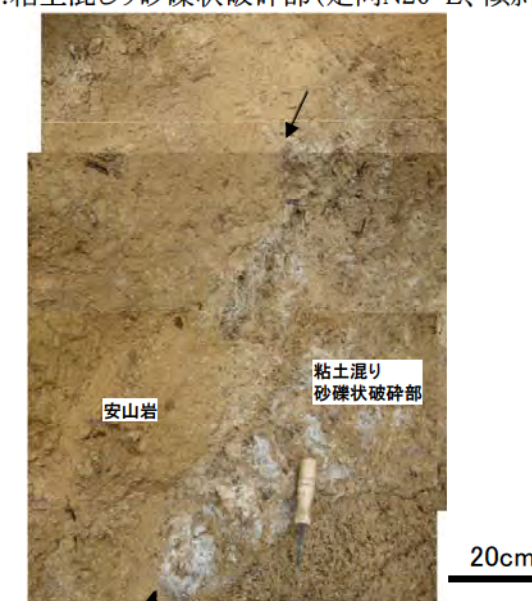
f3:粘土混じり砂礫状破碎部(走向N20° E、傾斜75° E)



f4:粘土混じり砂礫状破碎部(走向N56° E、傾斜45° S)

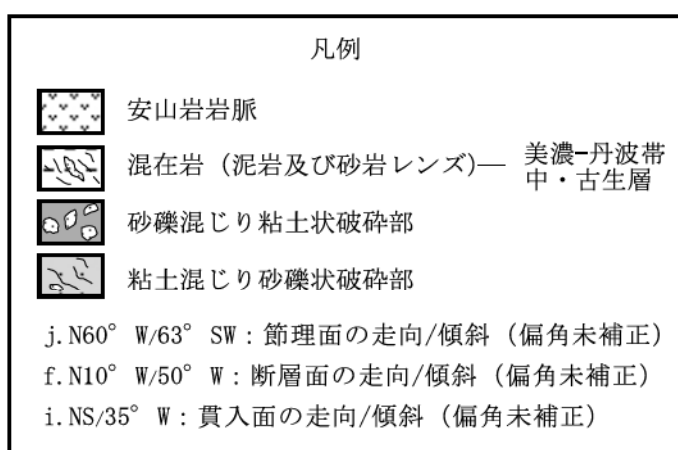
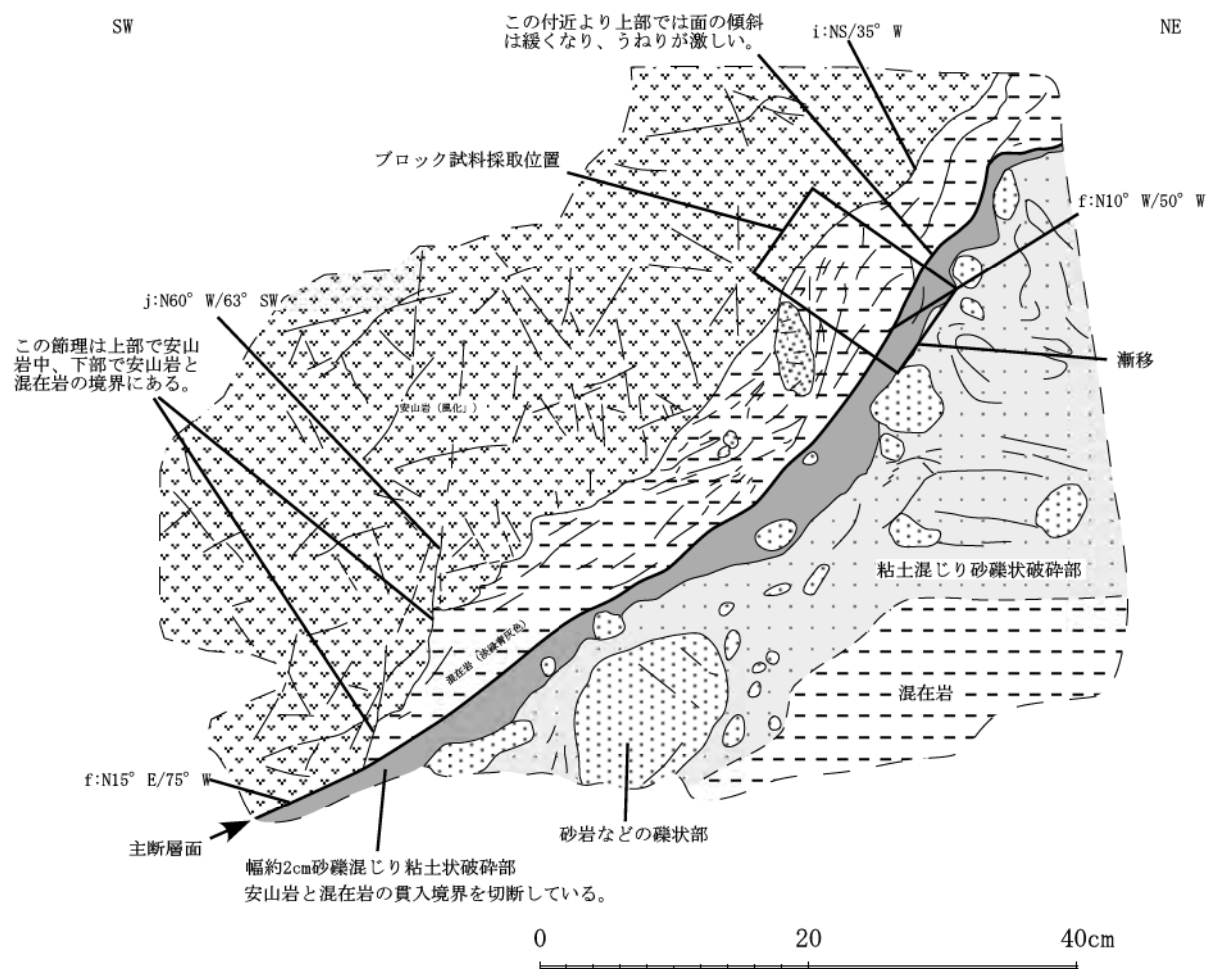


f5:粘土混じり砂礫状破碎部(走向N40° E、傾斜36° S)



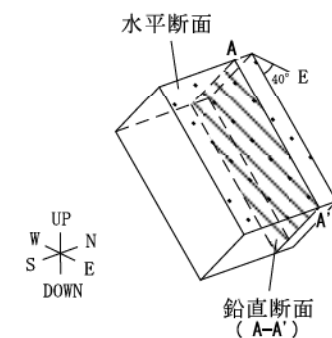
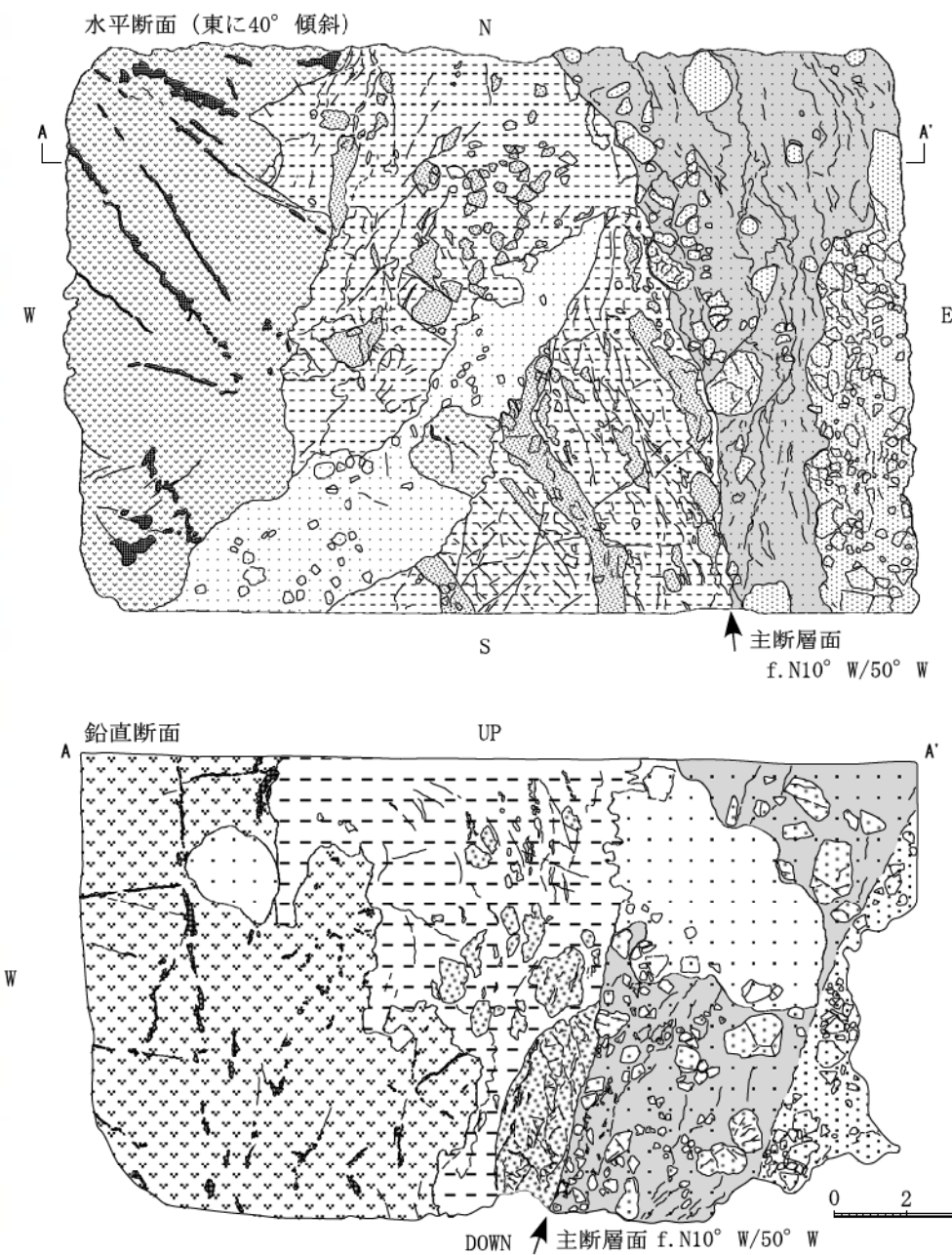
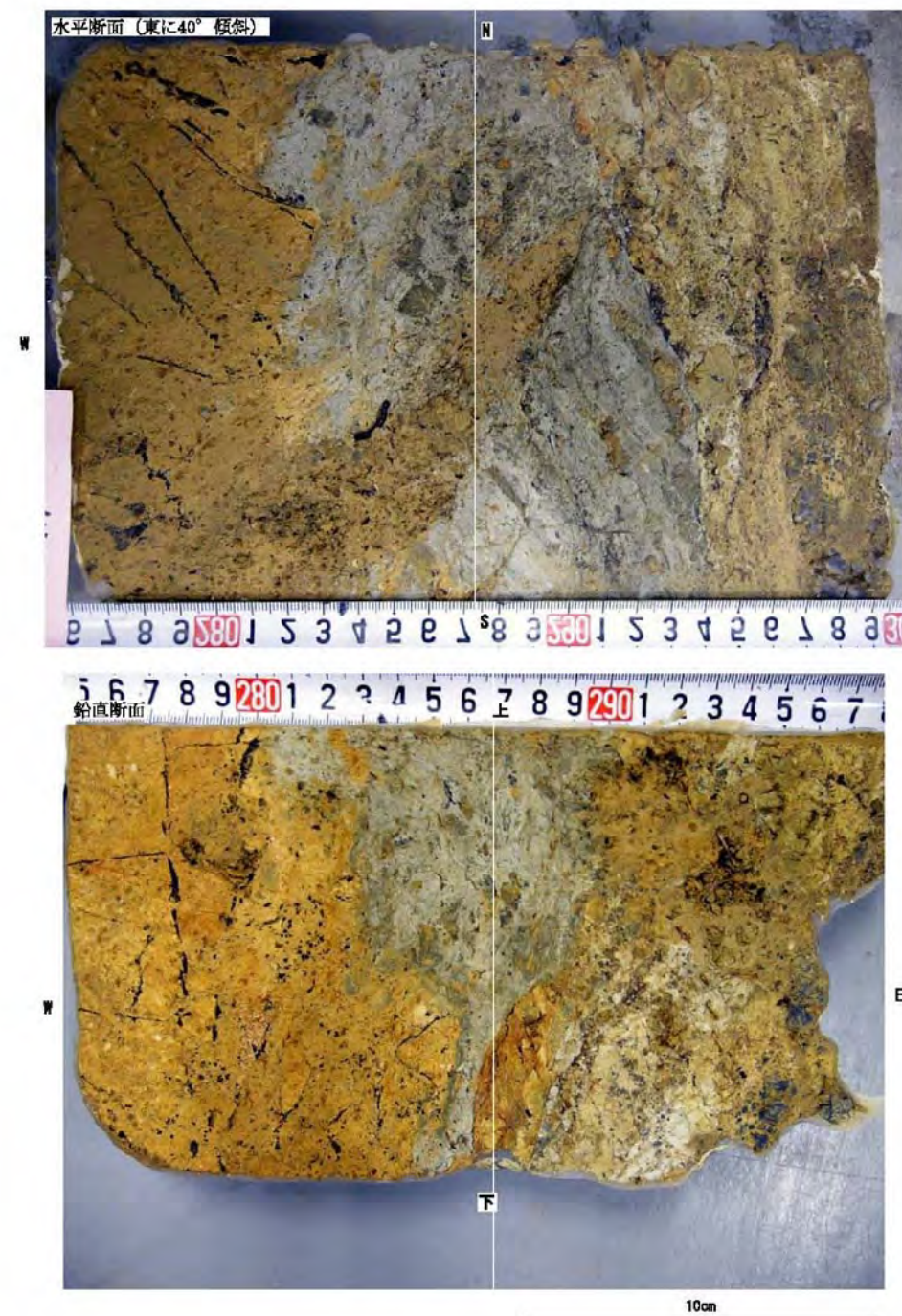
f6:粘土混じり砂礫状破碎部(走向N75° W、傾斜80° S)

破碎部の走向はリニアメント方向とは一致せず、破碎部は膨縮、湾曲し、活断層の破碎部に特徴的な明瞭な面構造のある粘土状破碎部、連続性の良い平面的な断層面は認められない。



岩盤中には小規模な破碎帯が数箇所認められた。破碎帯の走向はリニアメント方向とは一致せず、破碎帯は膨縮、湾曲し、活断層の破碎帯に特徴的な明瞭な面構造のある粘土状破碎部、連続性の良い平面的な断層面は認められない。

第1.3.49図 山中断層 山中峠南東方付近剥ぎ取り箇所の露頭拡大スケッチ (f2破碎部、Loc. Kt-7)



凡例

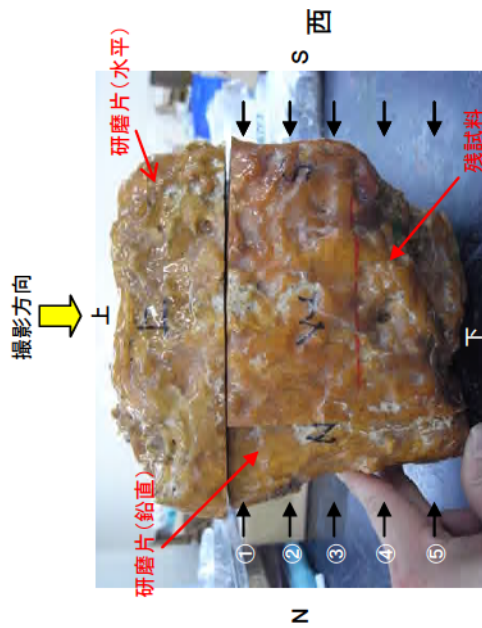
	植物根沿いの流入表土
	安山岩岩脈
	混在岩 (泥岩及び砂岩レンズ) — 美濃-丹波帯中・古生層
	砂礫混じり粘土状破碎部
	粘土混じり砂礫状破碎部
	安山岩節理沿いの酸化鉄

f. N10° W/50° W : 断層面の走向/傾斜 (偏角未補正)

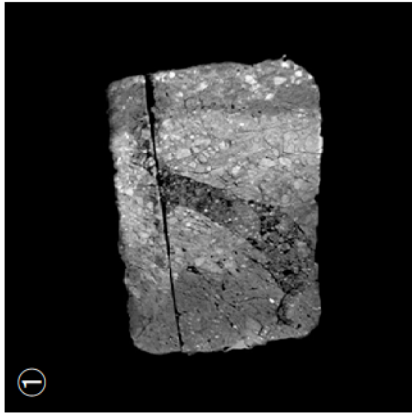
西側から安山岩岩脈、混在岩、砂礫混じり粘土状破碎部及び粘土混じり砂礫状破碎部からなる。安山岩岩脈と混在岩の境界は非常に凹凸し、安山岩岩脈に破碎は認められないので、貫入関係にあると判断される。混在岩と砂礫混じり粘土状破碎部の境界の主断層面は、凹凸で明瞭な面構造を伴わない。砂礫混じり粘土状破碎部及び粘土混じり砂礫状破碎部中においてもこれらの組織を切断する明瞭で平面的な断層面は認められない。

第1. 3. 50図 山中断層 山中峠南東方付近剥ぎ取り箇所のf2破碎部 ブロック試料の写真及びスケッチ (Loc. Kt-7)

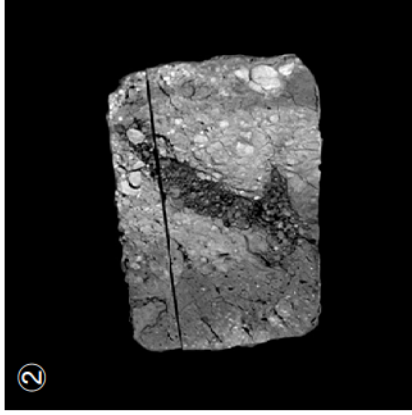
CT画像 水平図



北



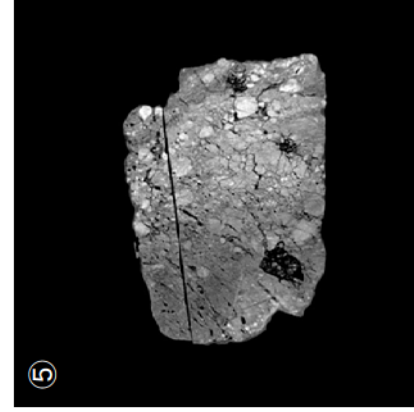
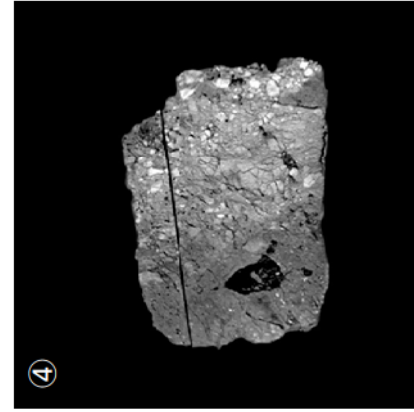
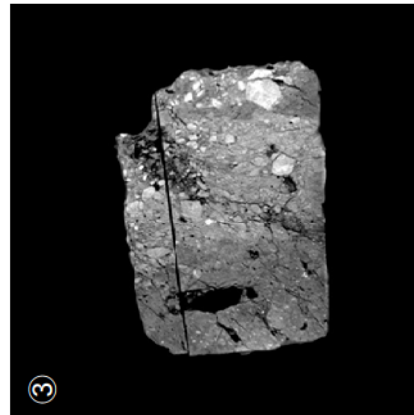
東



南

上(研磨片観察
面と接する面)

中間



中間

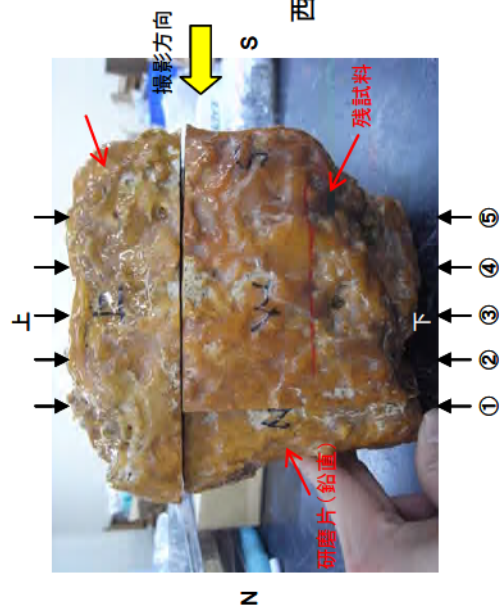
下

本試料についてはサイズが
大きく、CTスキャナーの仕様
により、画像の鮮明さに影響
している可能性あり。

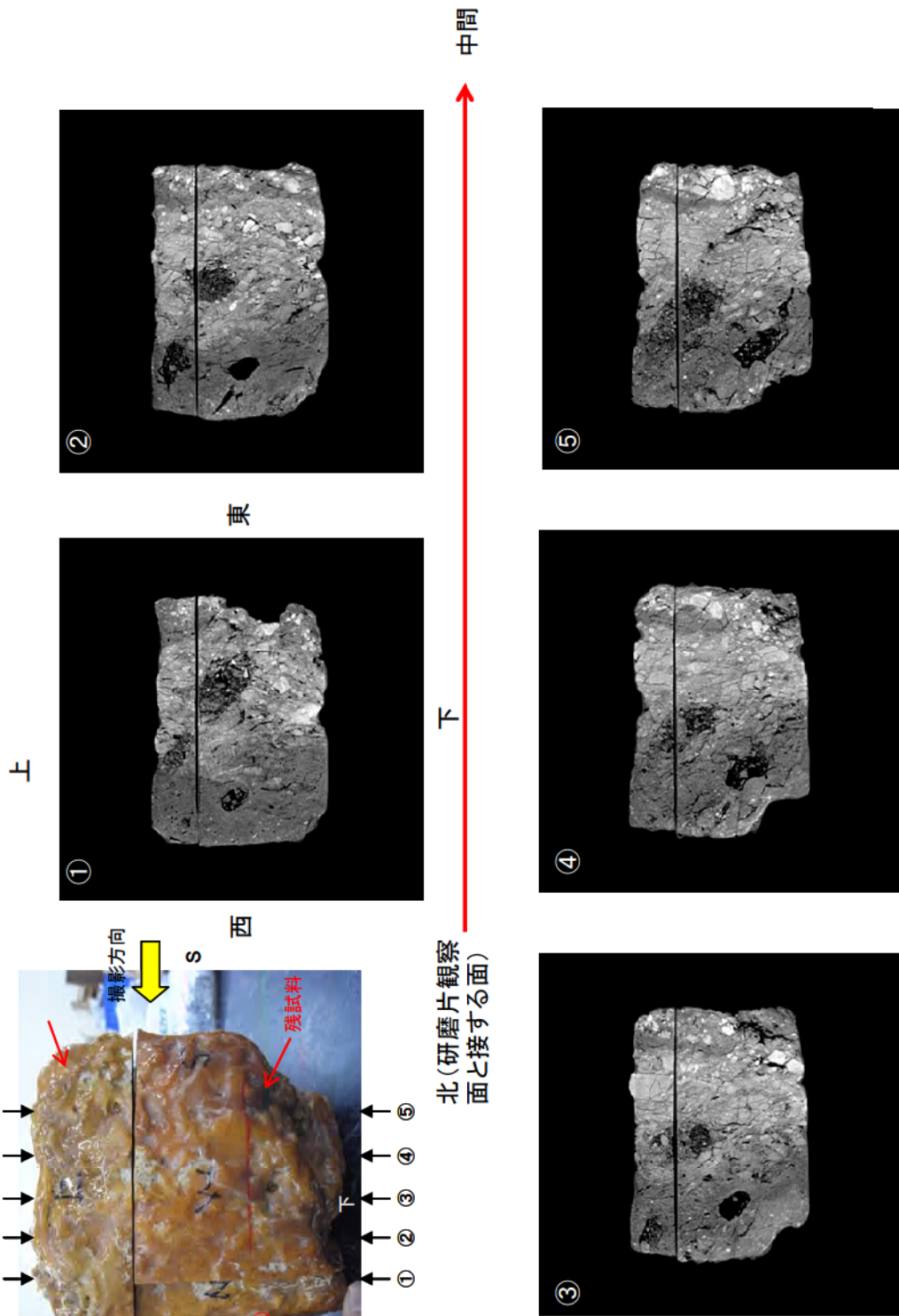
・断層面および複合面構造は認められない。

第 1.3.51 図(1) 山中断層 山中峠南東方付近剥ぎ取り箇所 f2 破砕部 ブロック試料の CT 画像観察結果 (Loc.Kt-7) (1)

CT画像 正面図



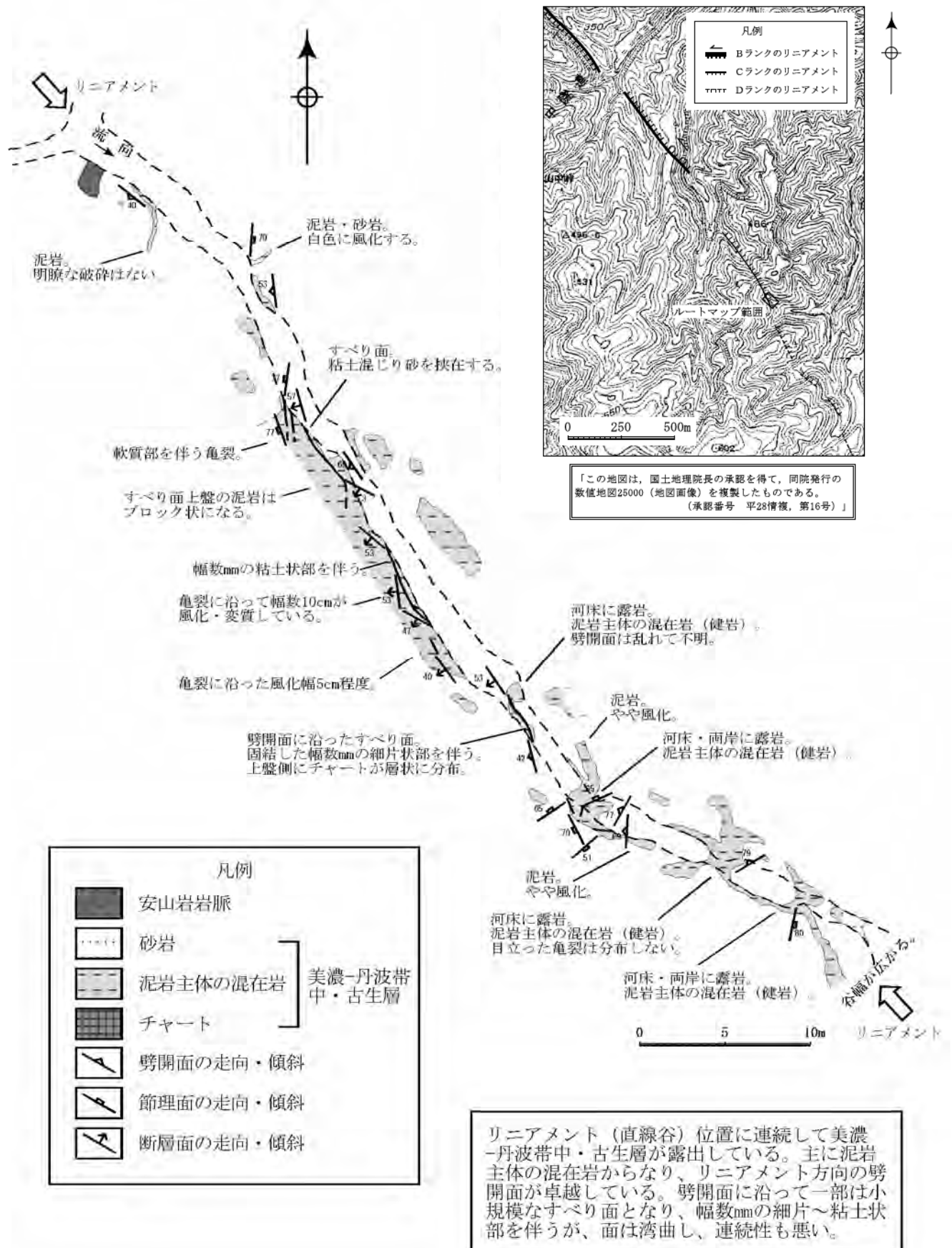
北(研磨片観察面と接する面)



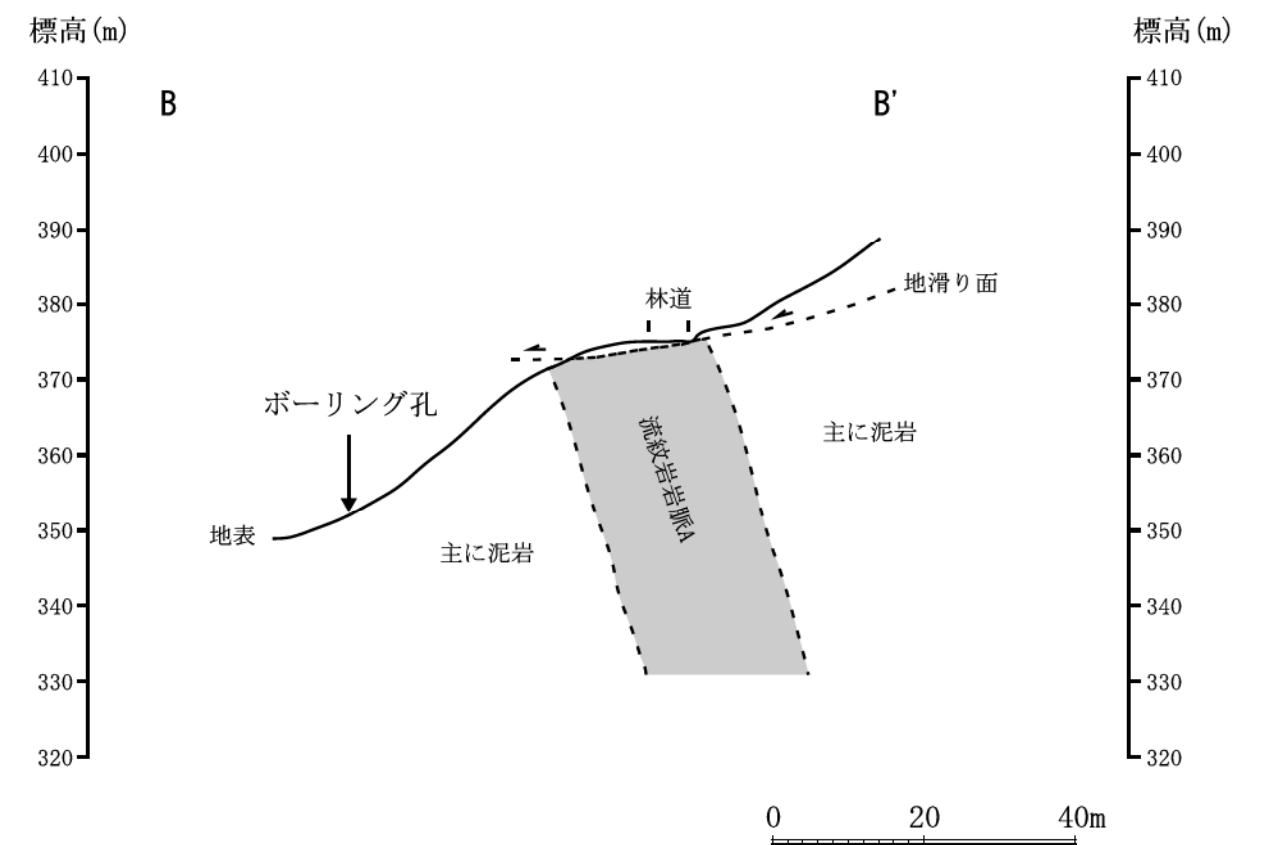
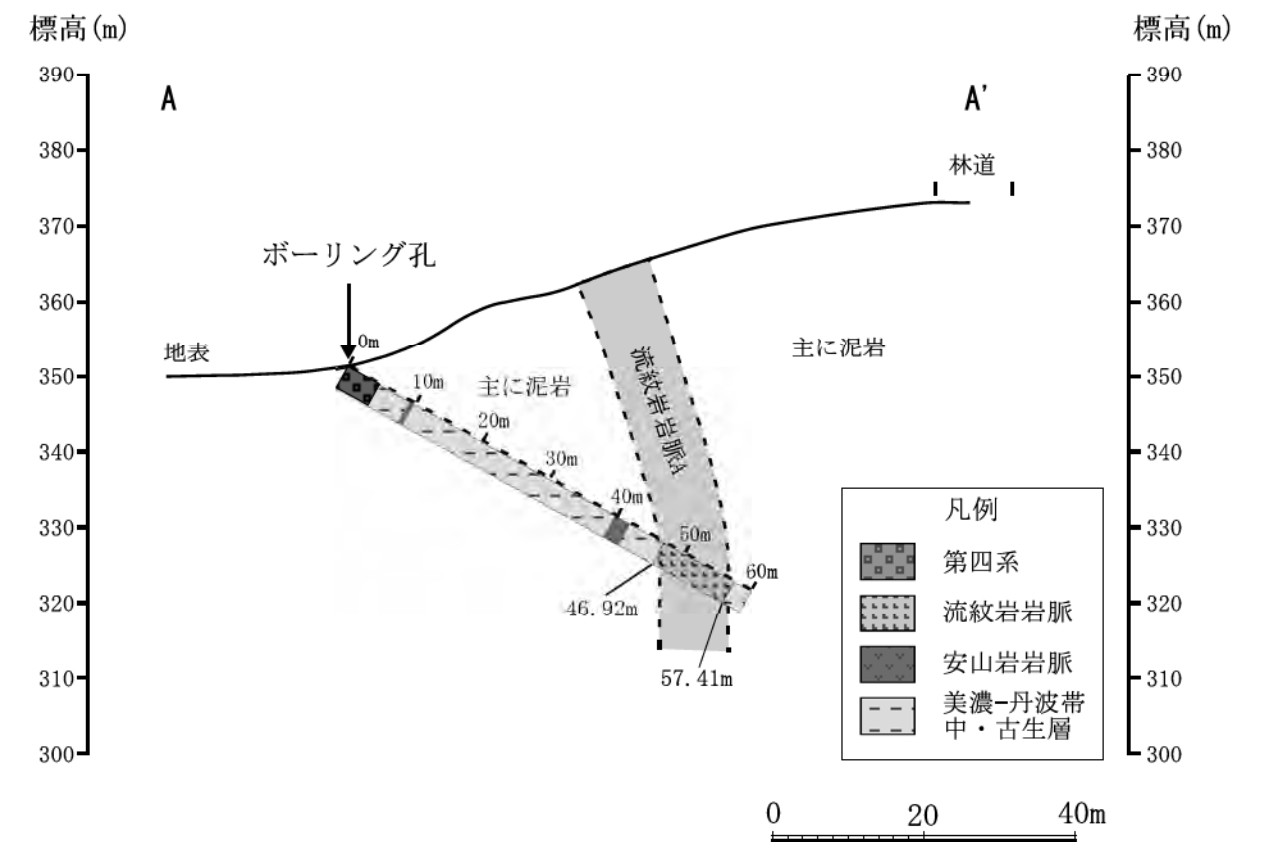
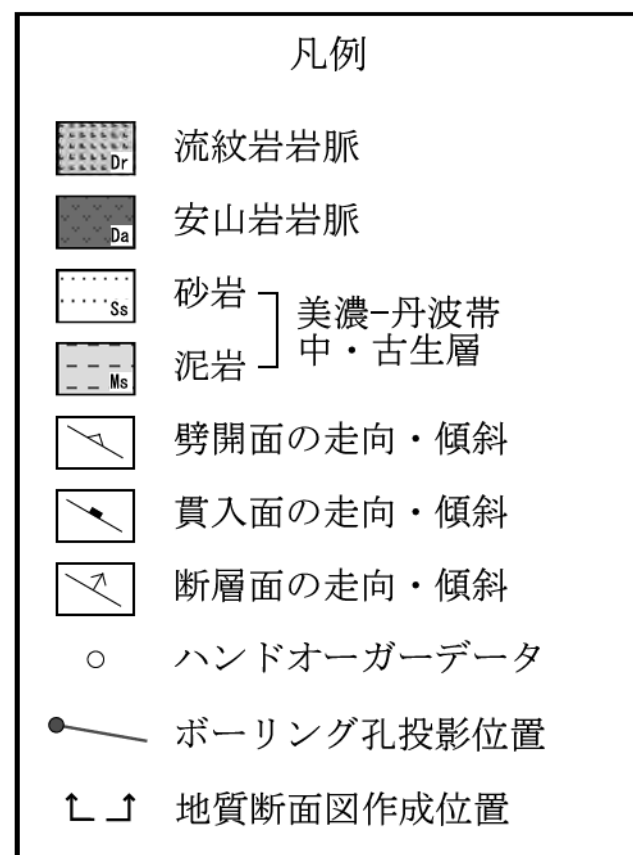
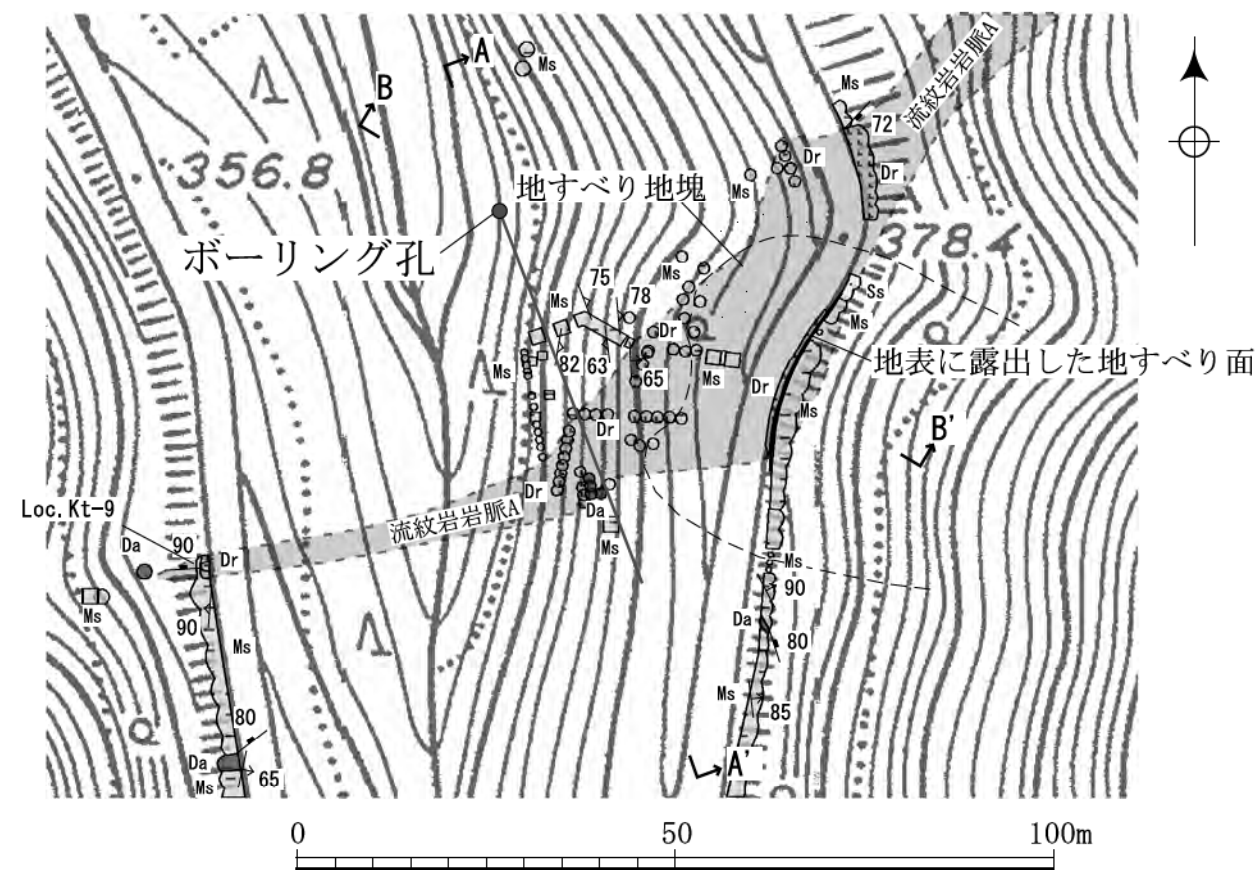
本試料についてはサイズが大きく、CTスキャナーの仕様により、画像の鮮明さに影響している可能性があります。

•断層面および複合面構造は認められない。

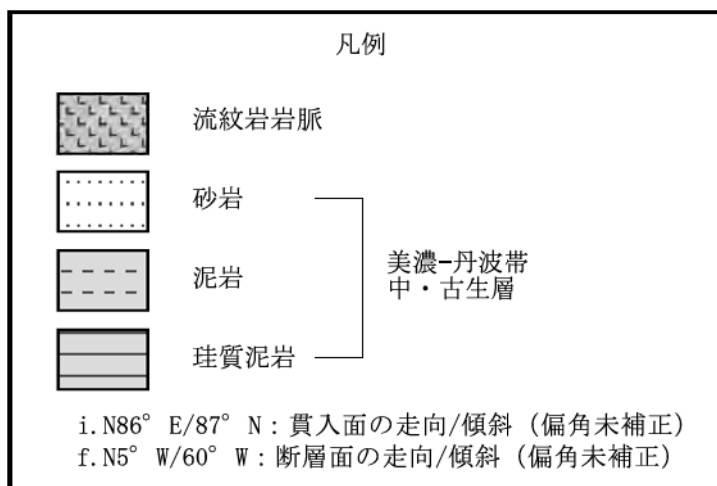
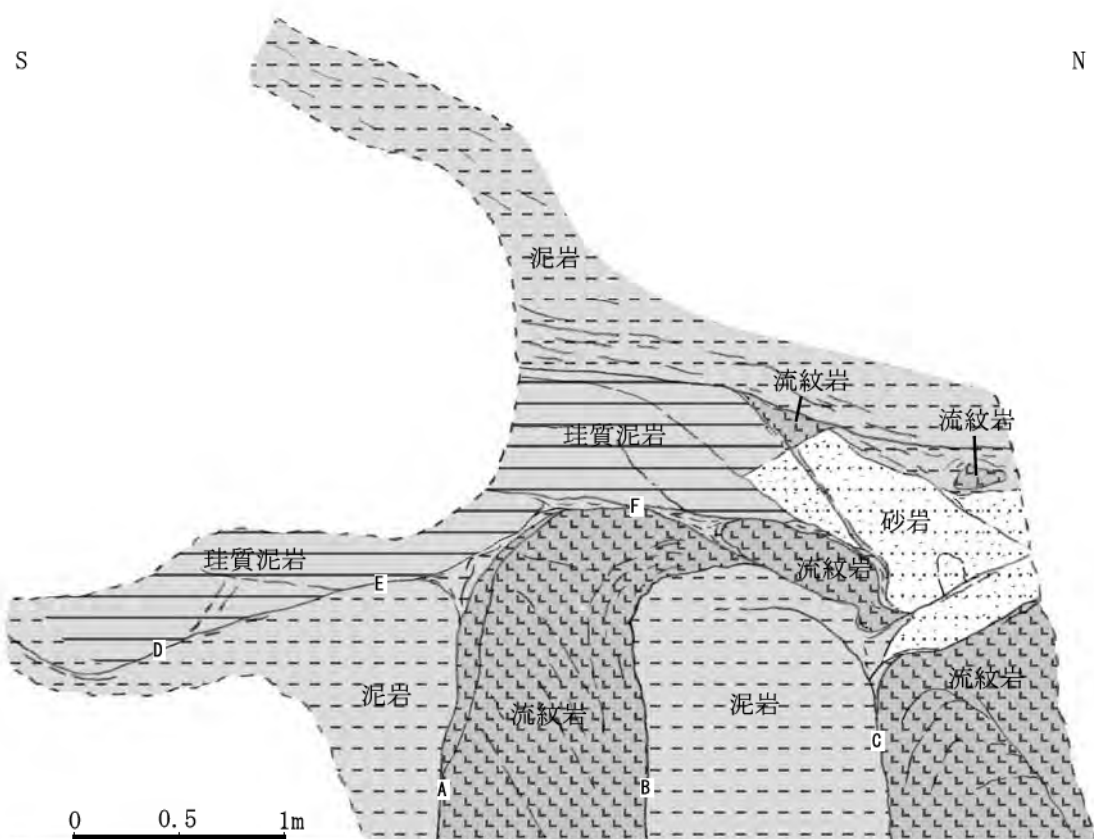
第 1.3.51 図 (2) 山中断層 山中峠南東方付近剥ぎ取り箇所 f2 破砕部 ブロック試料の CT 画像観察結果 (Loc.Kt-7) (2)



第1.3.52図 山中断層 山中峠東方ボーリング地点
南東方の拡大ルートマップ (Loc. Kt-8)



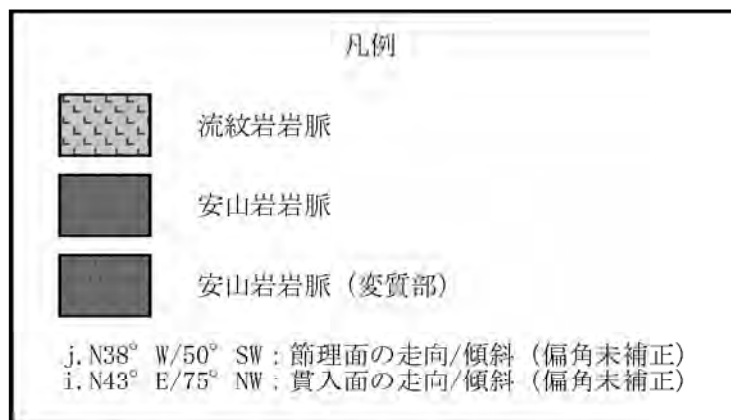
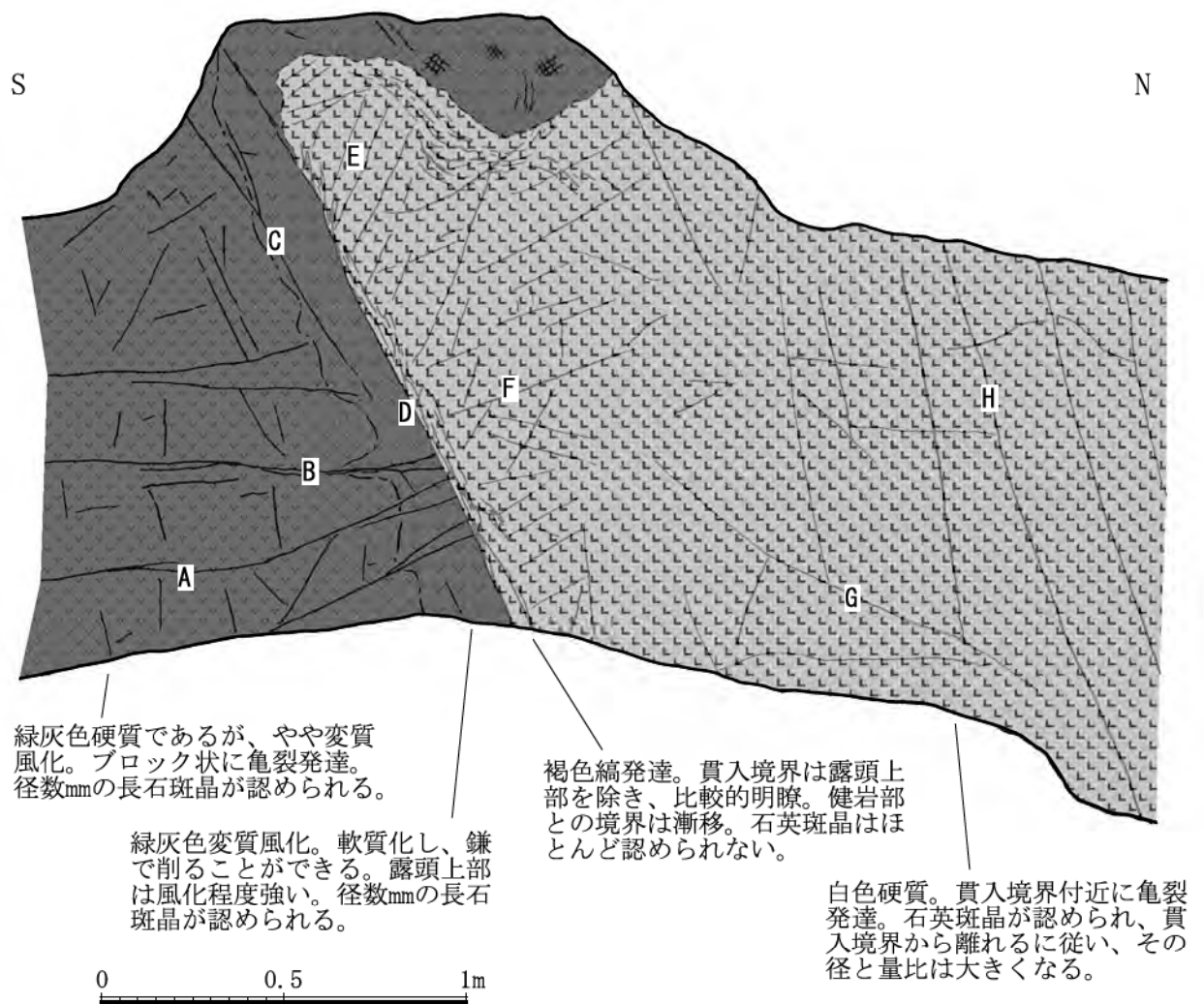
第1. 3. 53図 山中断層 山中峠東方ボーリング地点の地質断面図



A : i. N86° E/87° N
B : i. N79° W/87° N
C : i. N61° E/89° NW
D : f. N5° W/60° W
E : f. N13° W/51° W
(幅数cm白色礫混じり粘土状破碎部)
F : f. N13° E/70° W

山中断層リニアメントの西側山地斜面において、流紋岩岩脈の露頭が認められる。岩脈は複雑な形状で美濃-丹波帯に貫入しているが、貫入面の走向は概ねENE-WSSWである。

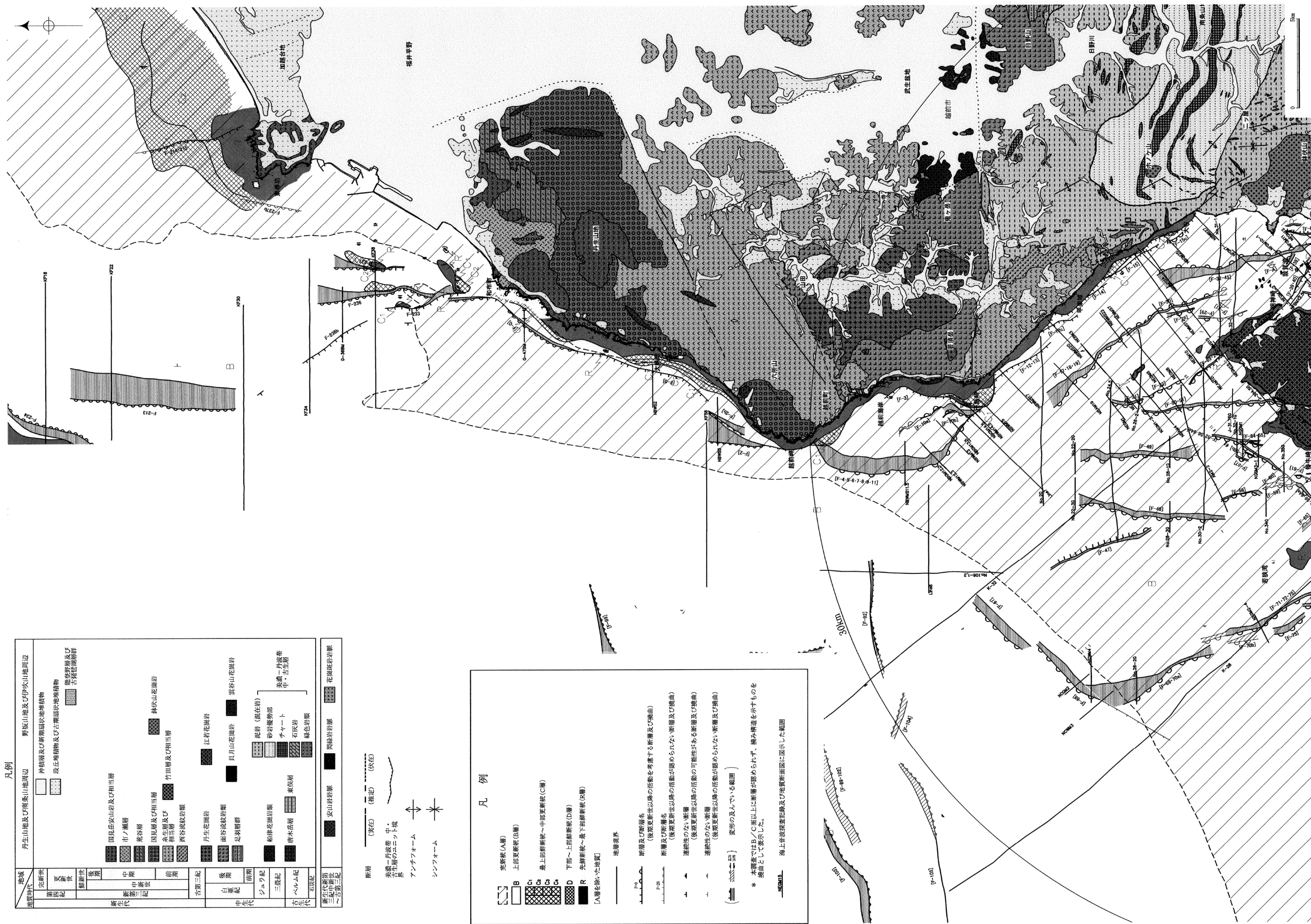
第1. 3. 54図 山中断層 山中峠東方ボーリング地点付近の流紋岩岩脈A (Loc. Kt-9) の露頭スケッチ

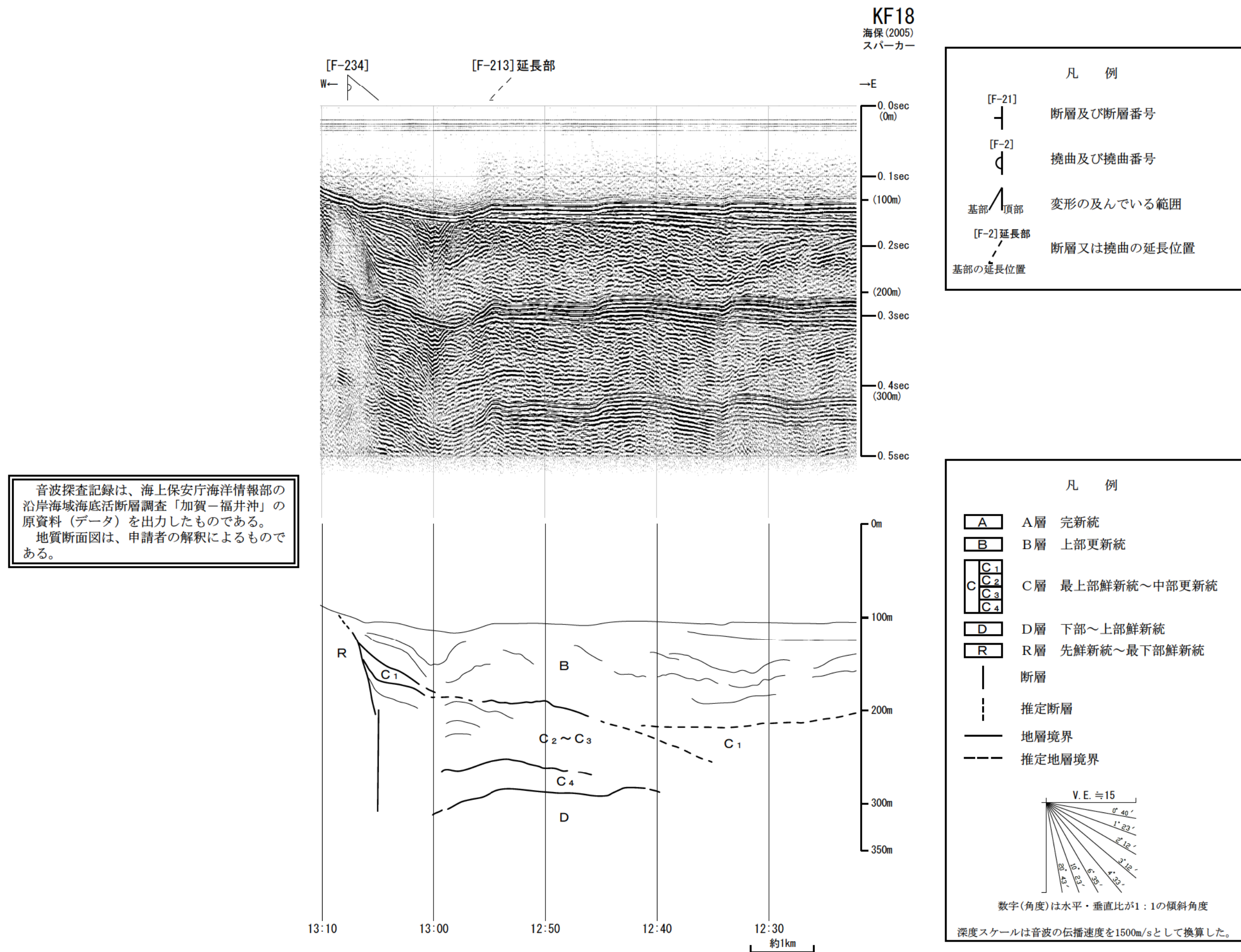


- A : j. N38° W/50° SW
B : j. N38° W/59° SW
C : j. N27° E/90°
D : i. N43° E/75° NW
E : j. N56° E/59° SE
F : j. N44° W/37° SW
G : j. N14° W/85° E
H : j. N42° E/80° NW

林道法面の露頭で流紋岩と安山岩が接触している。両者の境界はNE－SWである。安山岩が変質し、境界近くまで径数mmの長石斑晶を含んでいるのに対して、流紋岩は境界付近では緻密で、石英斑晶も少なくなっていることから、流紋岩が安山岩に対して貫入したと考えられる。

第1. 3. 55図 山中断層 山中峠東方ボーリング地点付近の流紋岩岩脈B (Loc. Kt-10) の露頭スケッチ

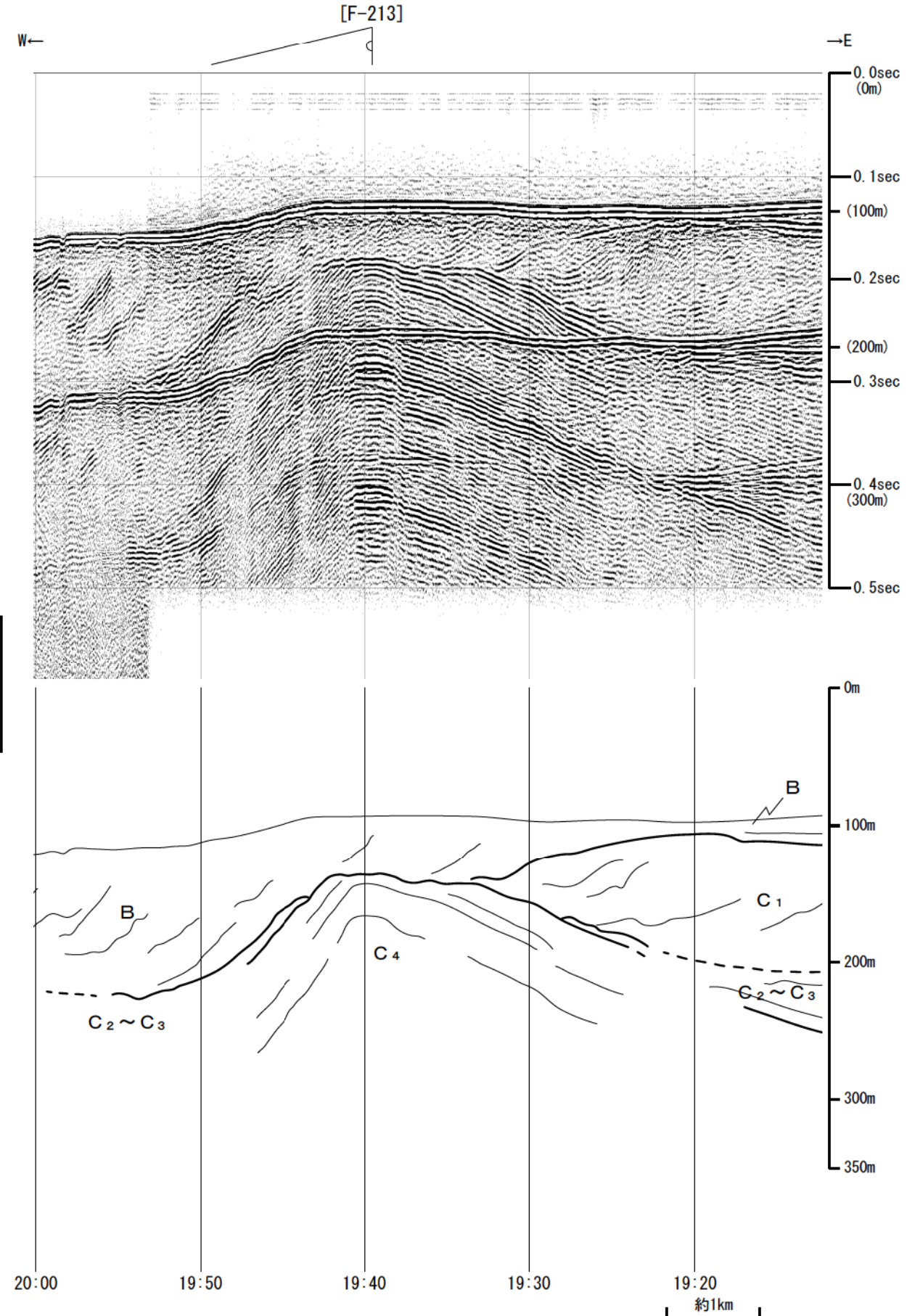




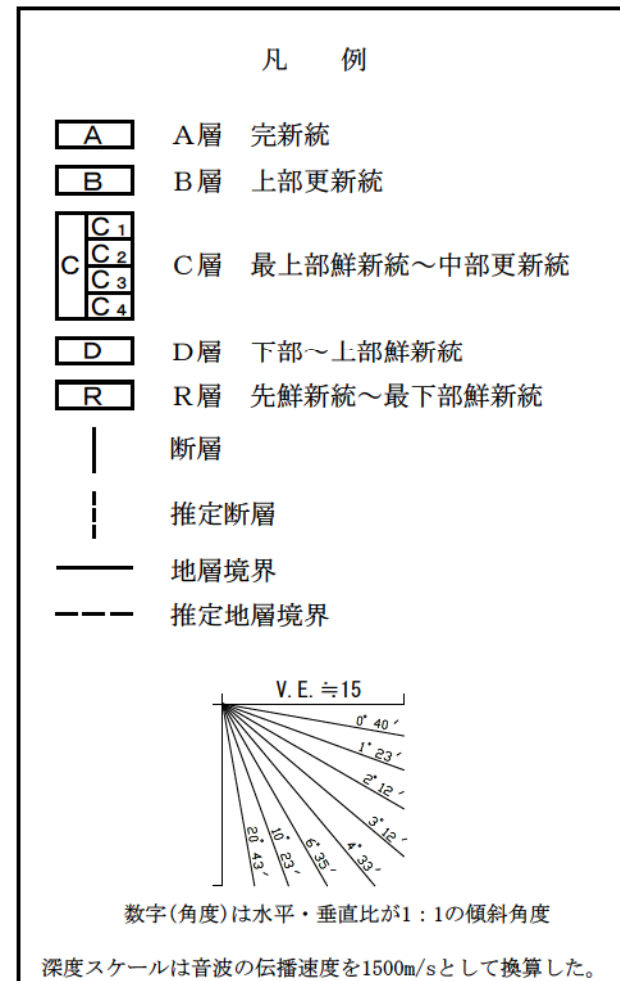
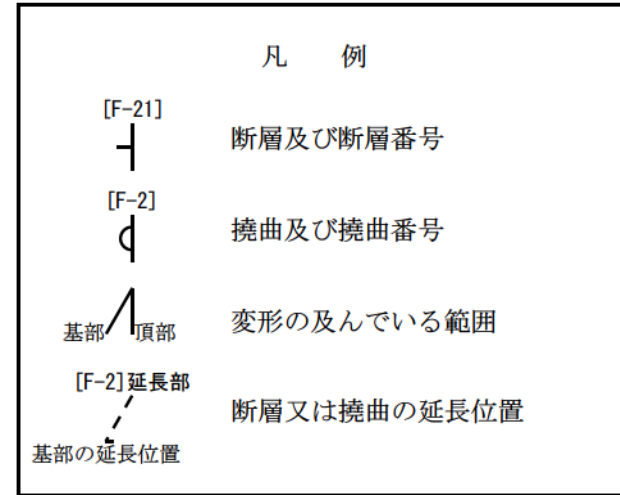
第1.3.57図(1) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (KF18)

KF22

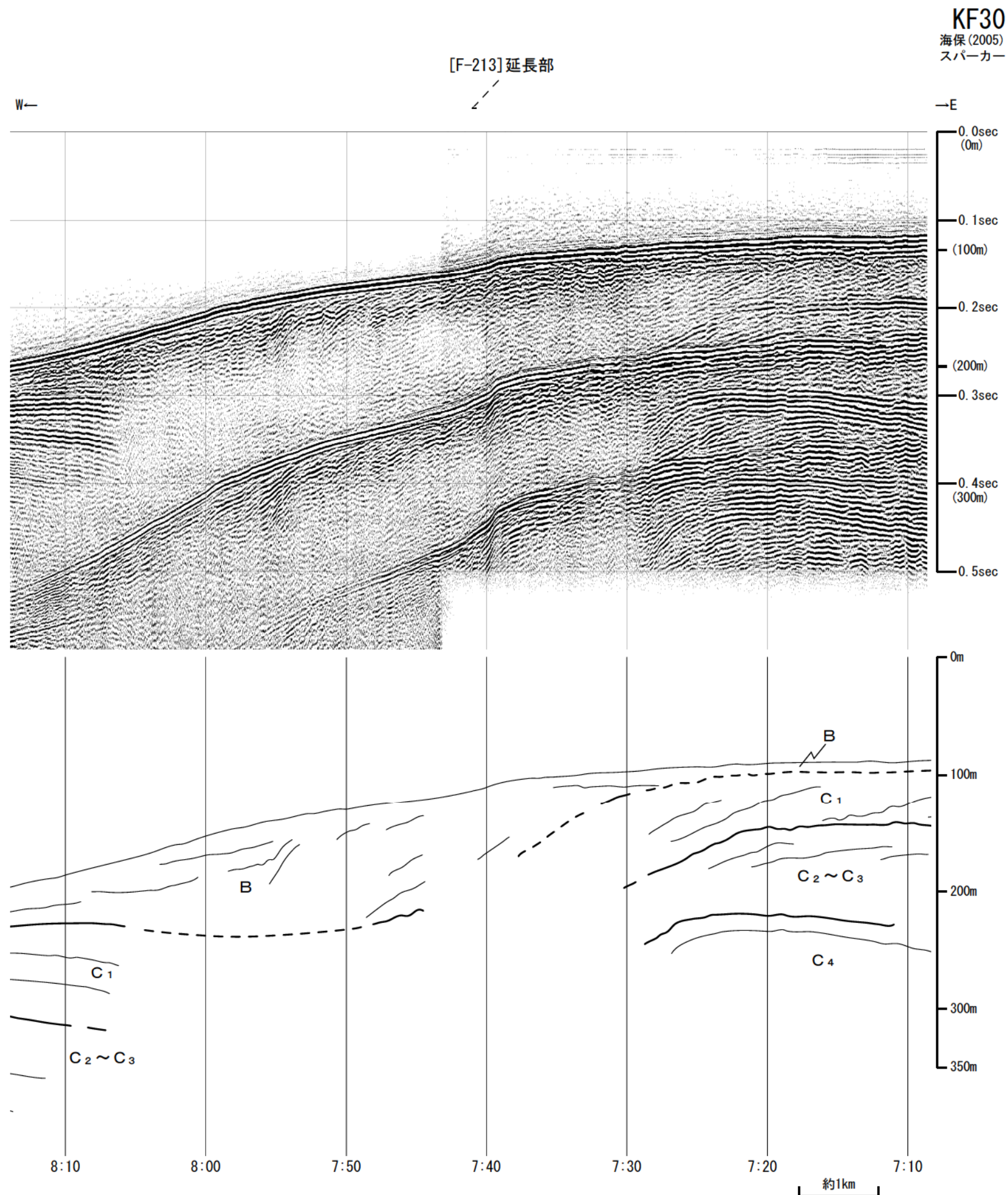
海保(2005)
スーパーカー



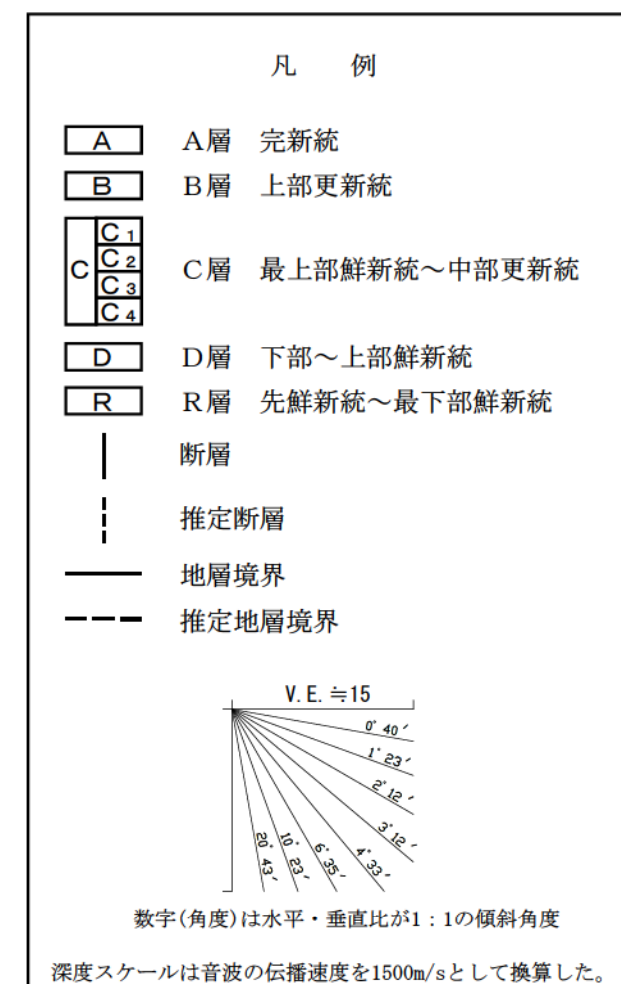
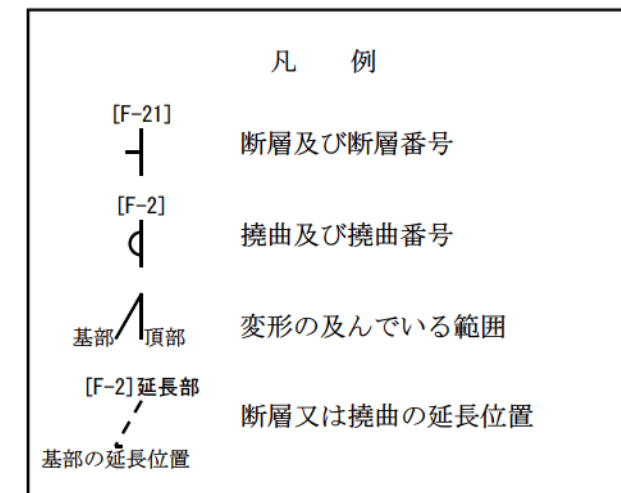
音波探査記録は、海上保安庁海洋情報部の沿岸海域海底活断層調査「加賀ー福井沖」の原資料（データ）を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。



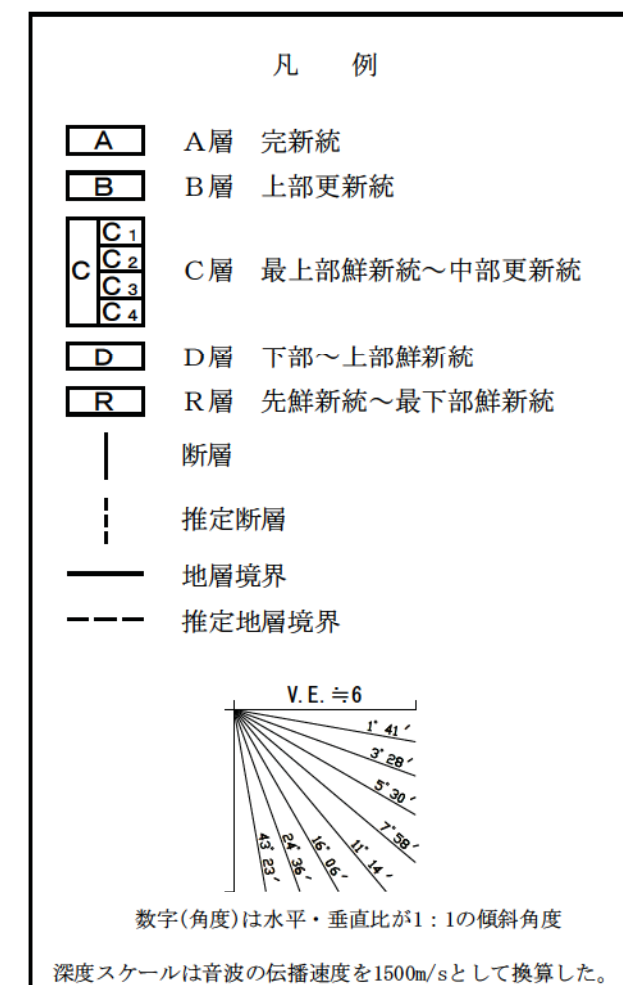
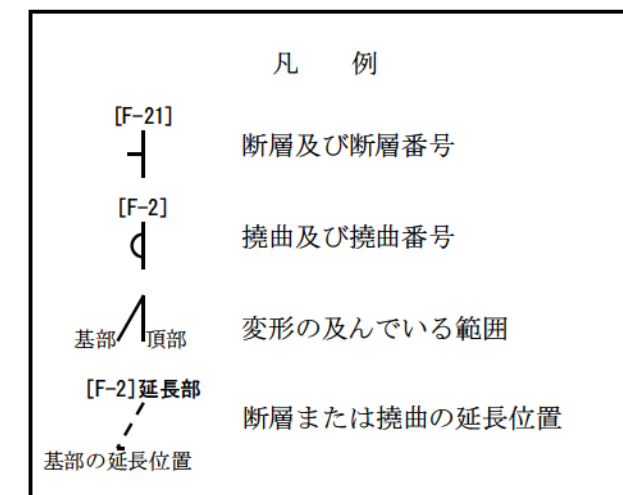
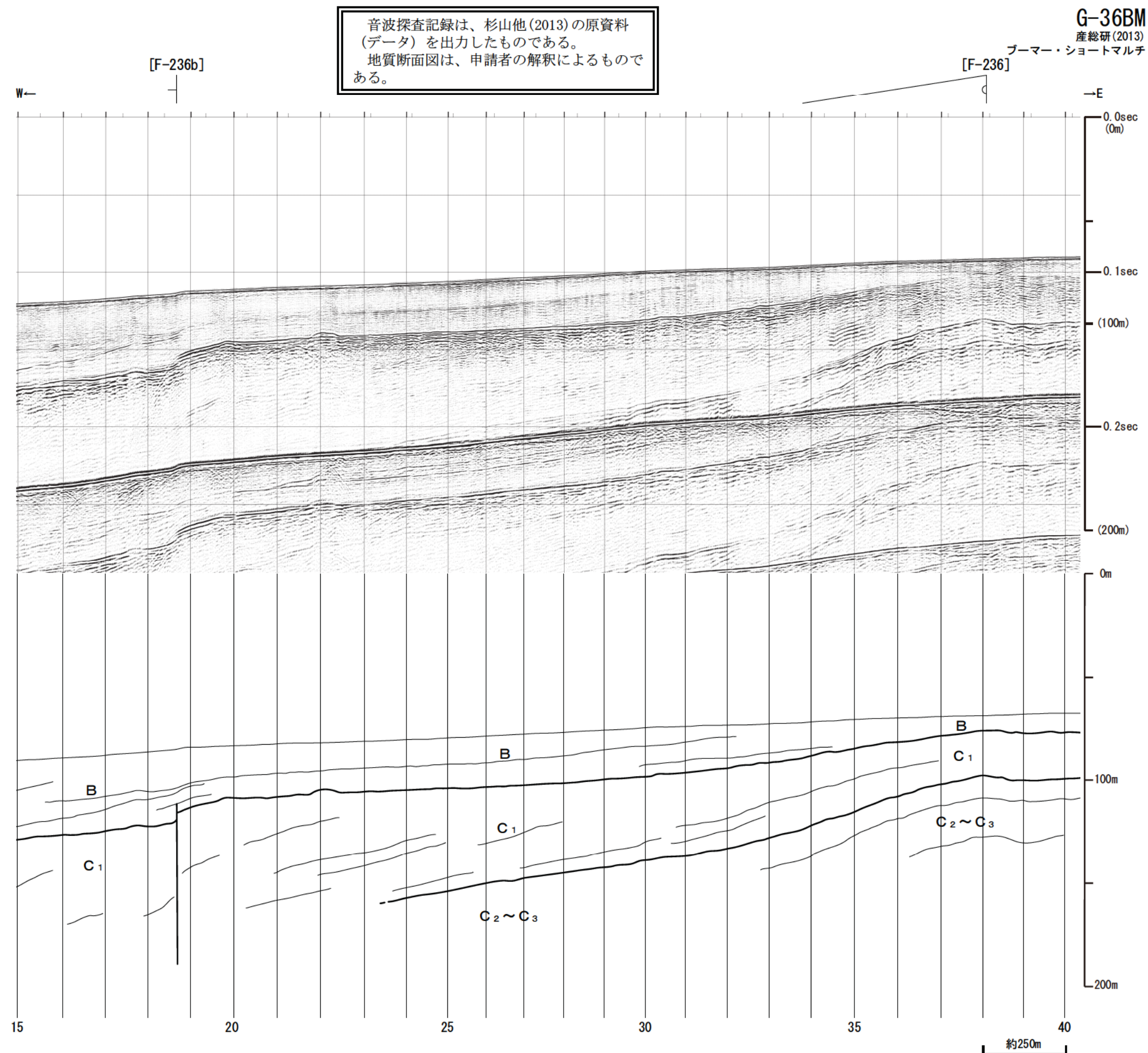
第1. 3. 57図(2) 安島岬沖断層，和布ー干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（KF22）



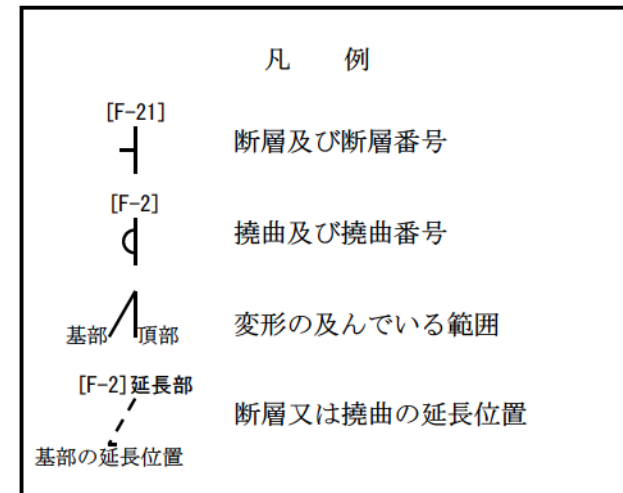
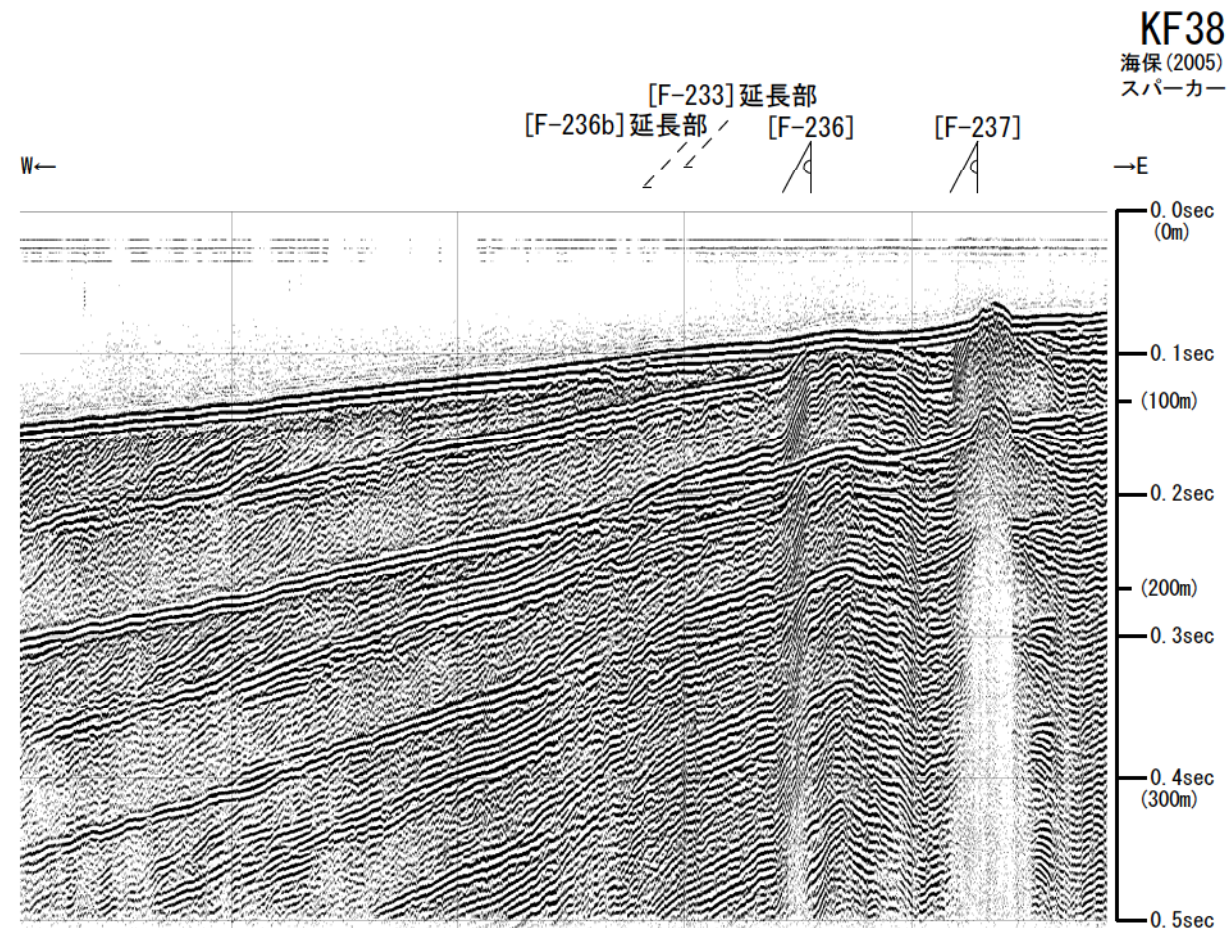
音波探査記録は、海上保安庁海洋情報部の沿岸海域海底活断層調査「加賀ー福井沖」の原資料（データ）を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。



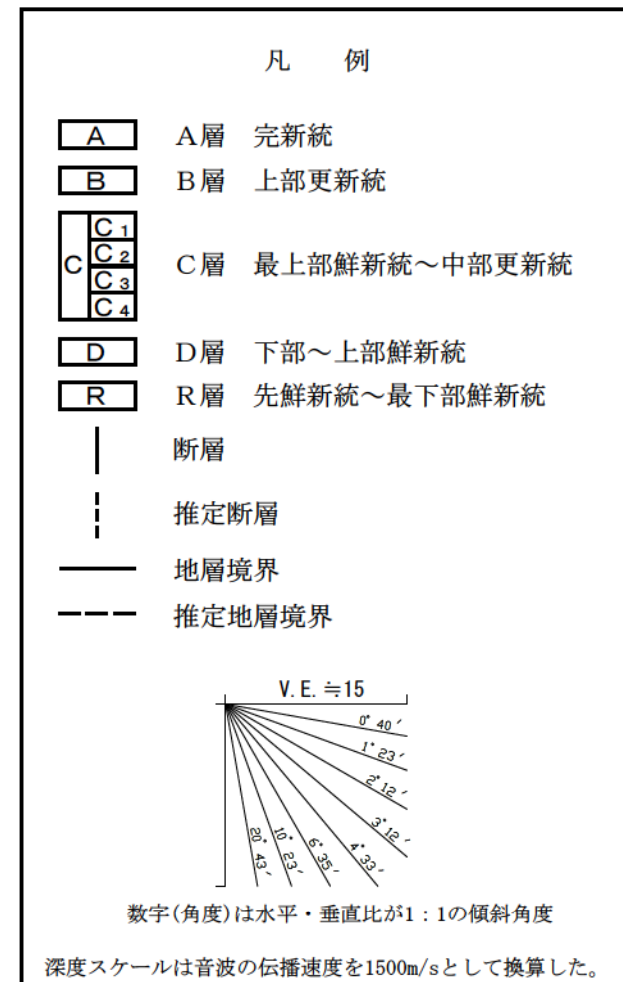
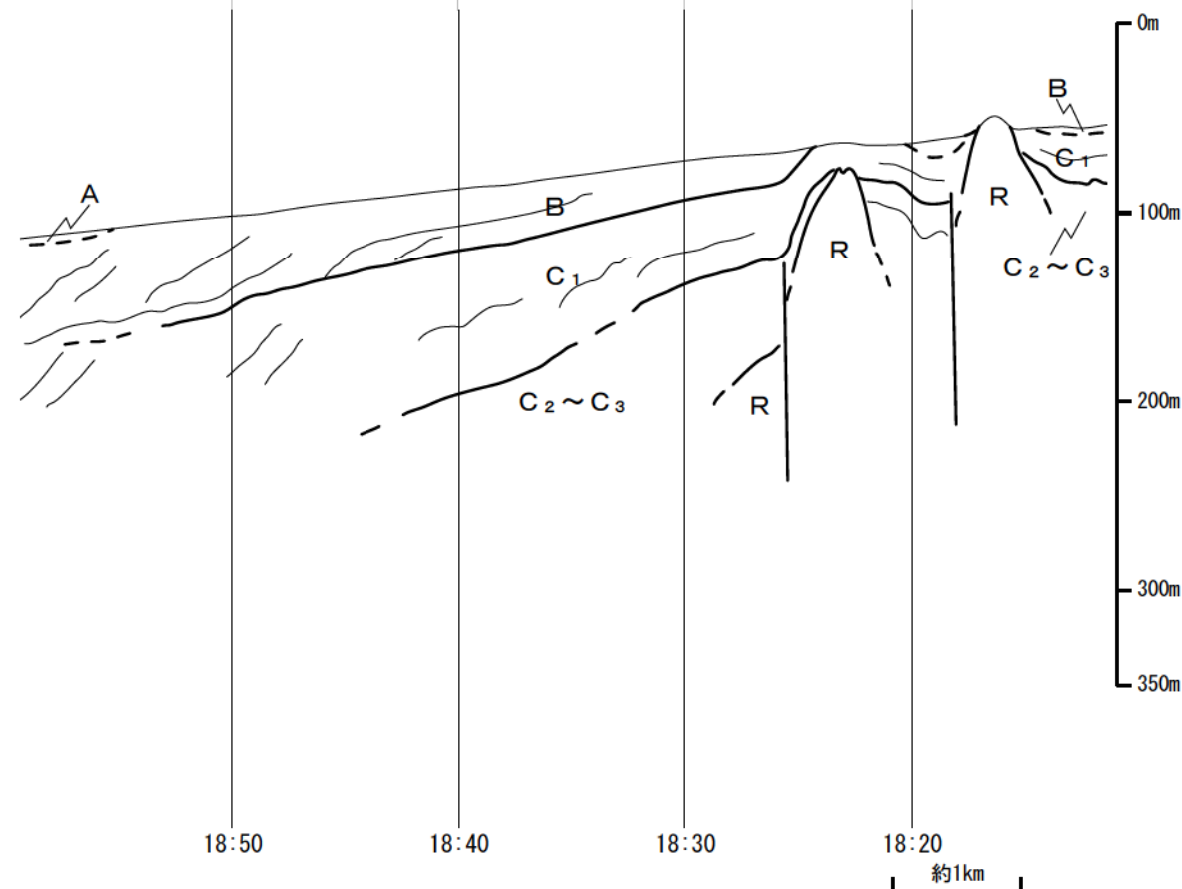
第1. 3. 57図(3) 安島岬沖断層，和布ー干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（KF30）



第1.3.57図(5) 安島岬沖断層, 和布一干飯崎沖断層, 甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (G-36BM)

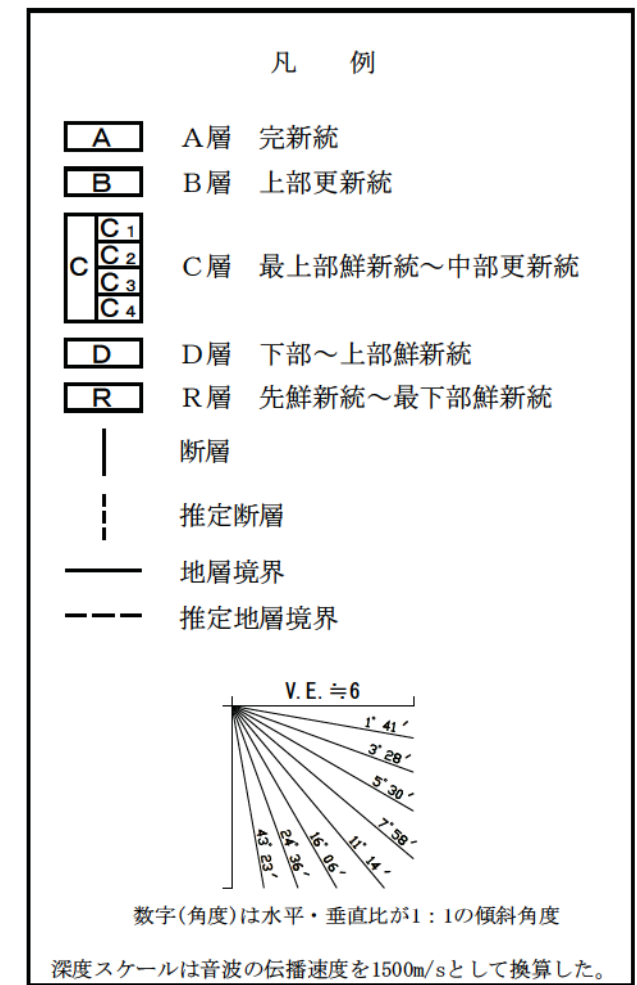
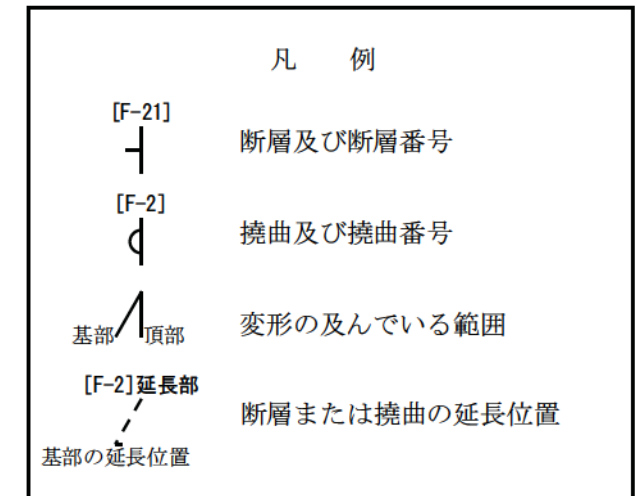
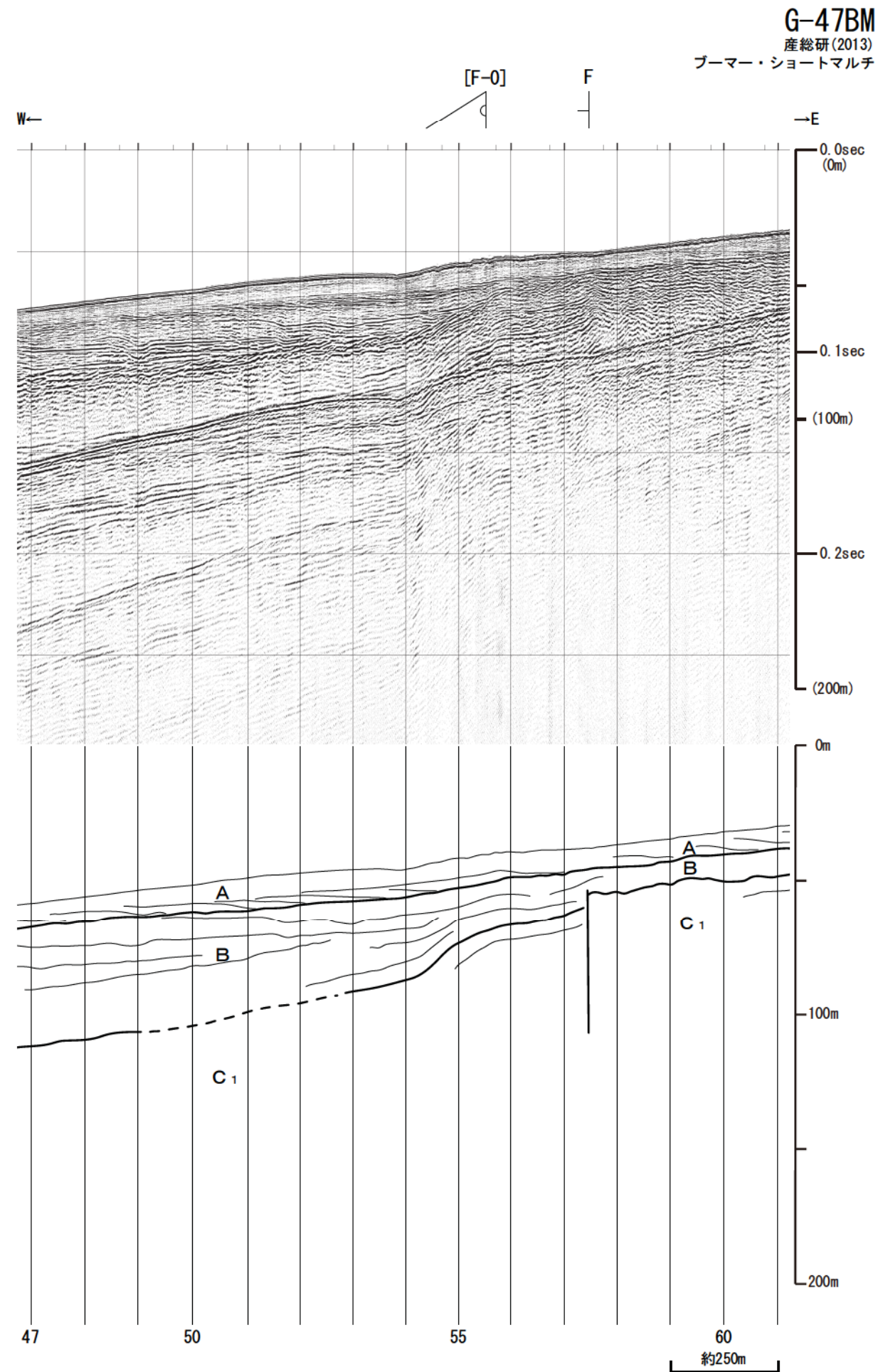


音波探査記録は、海上保安庁海洋情報部の沿岸海域海底活断層調査「加賀ー福井沖」の原資料（データ）を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

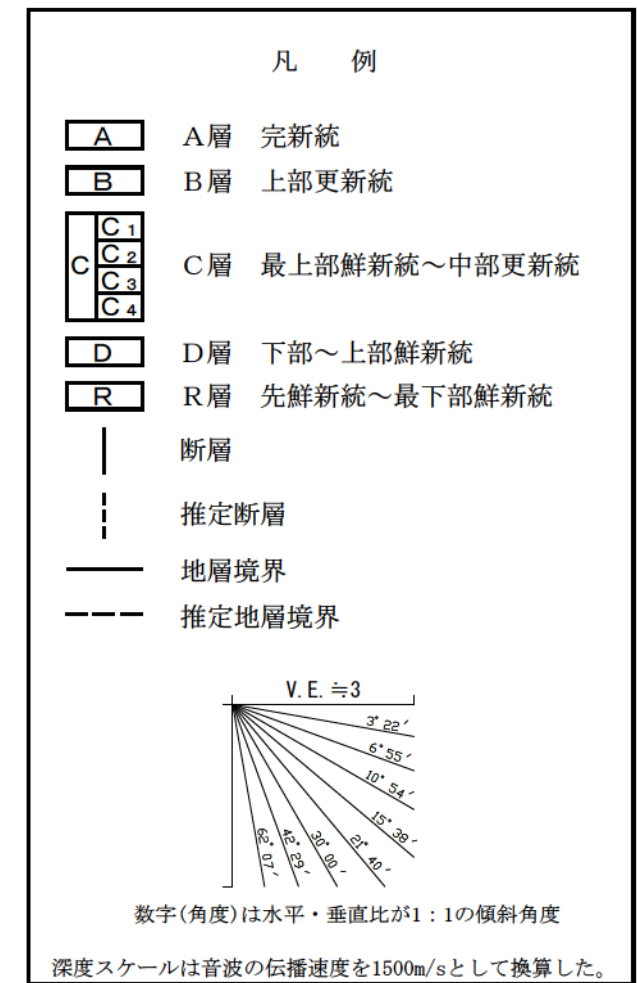
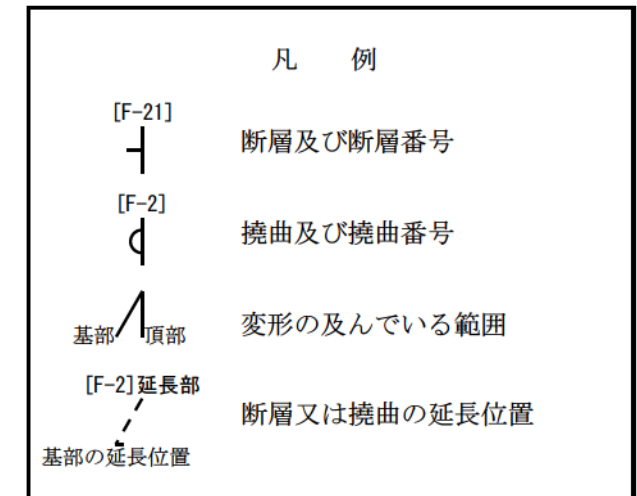
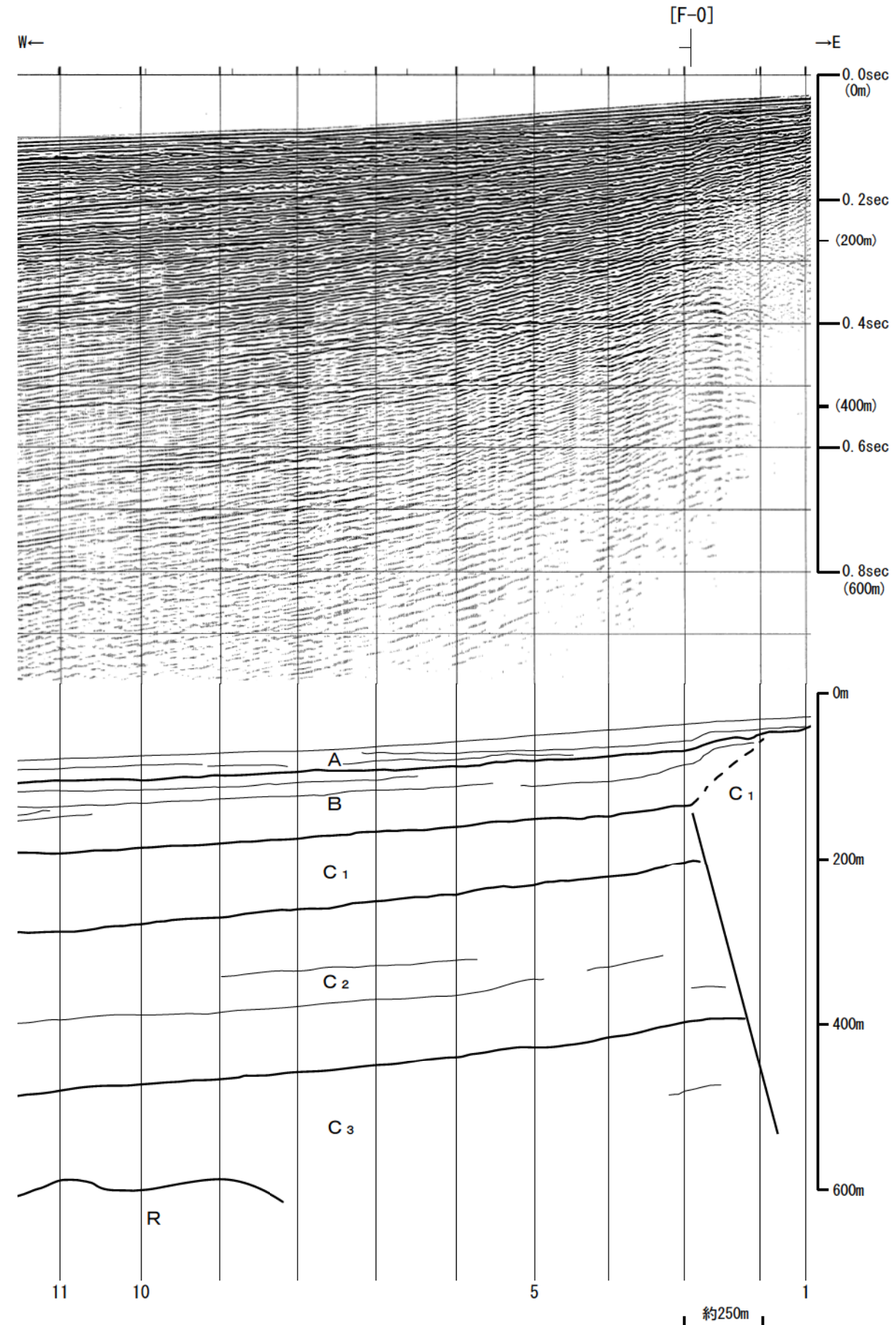


第1. 3. 57図(6) 安島岬沖断層，和布ー干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（KF38）

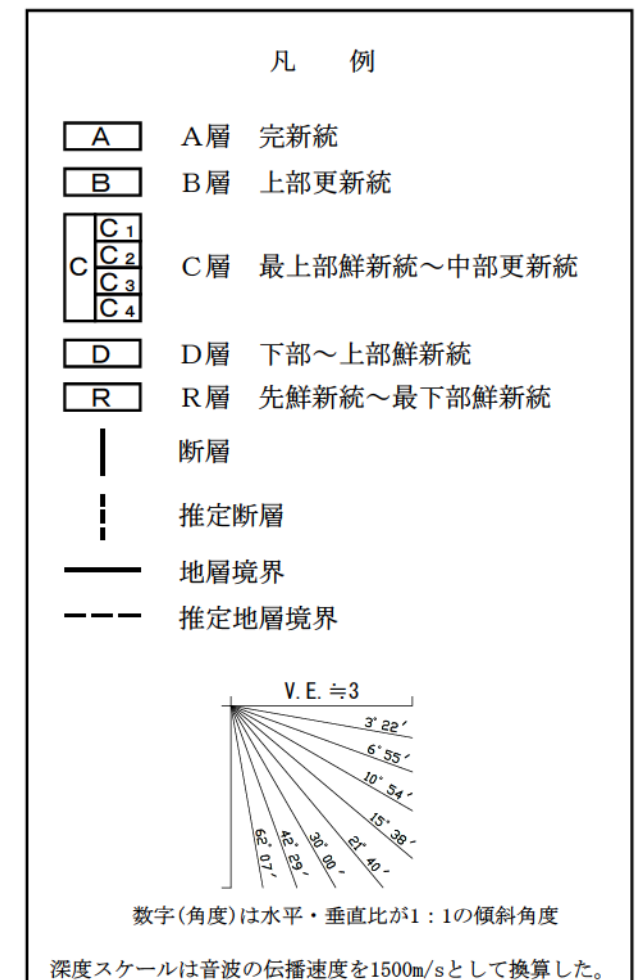
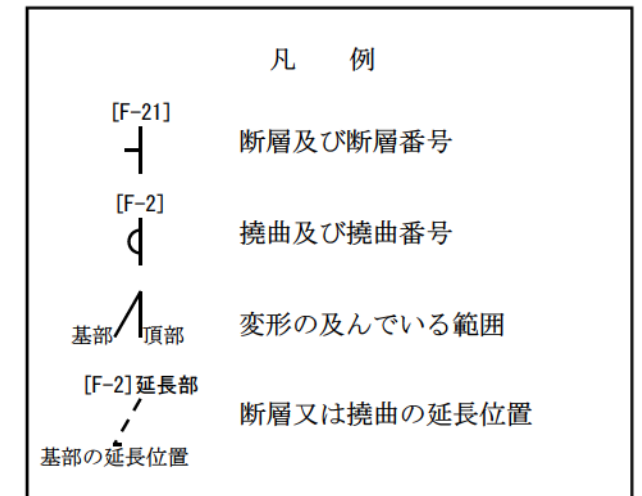
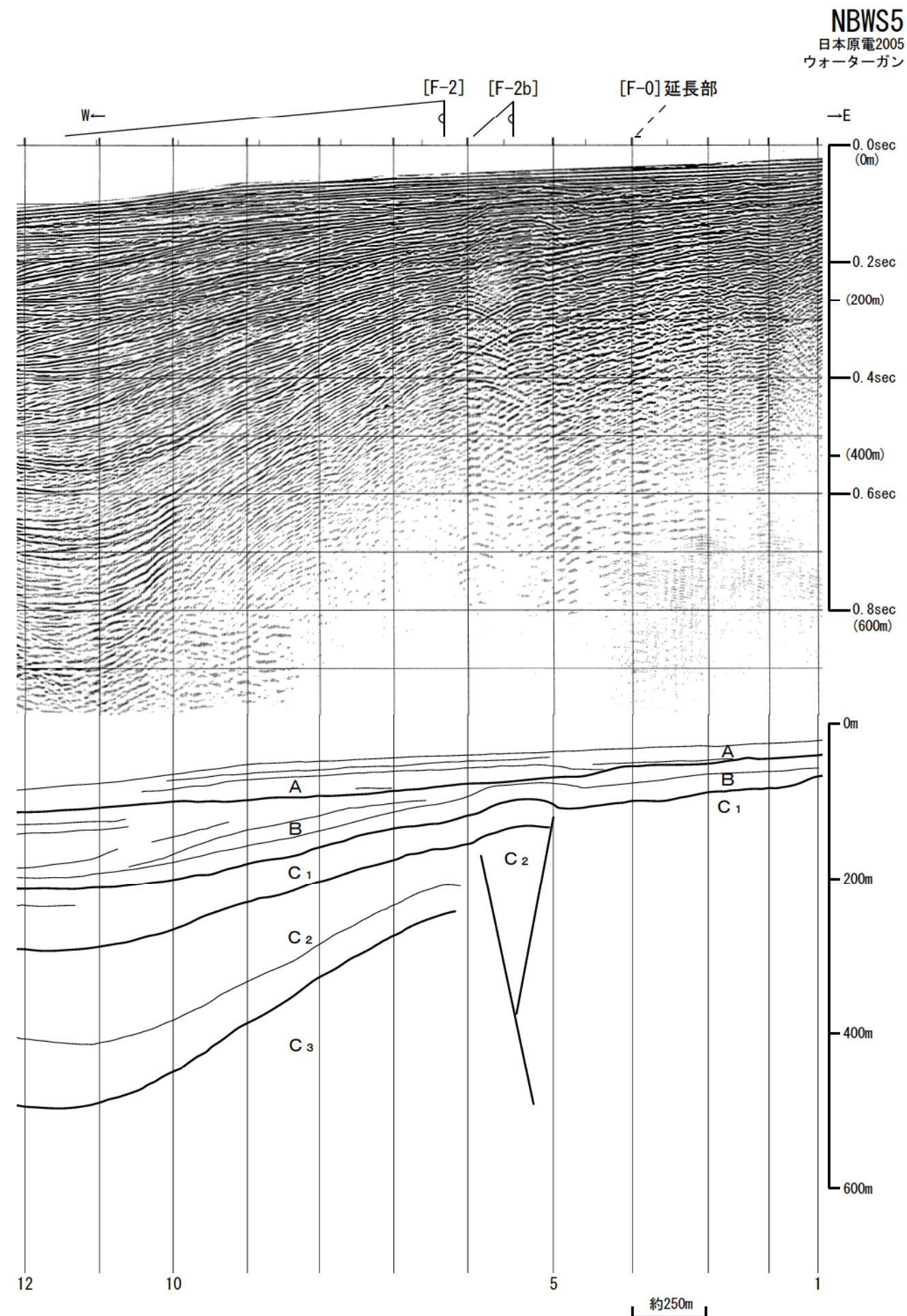
音波探査記録は、杉山他(2013)の原資料(データ)を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。



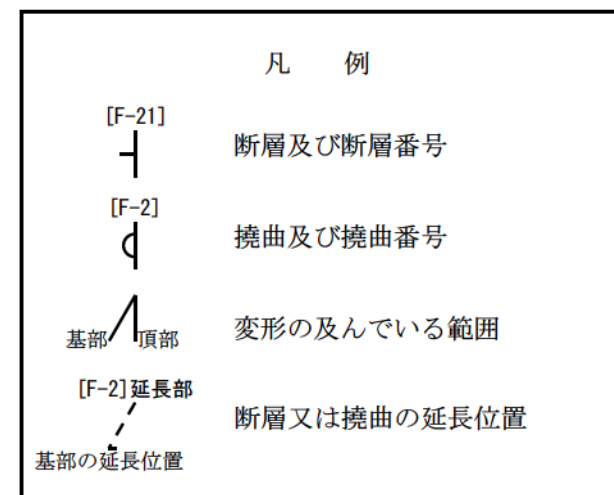
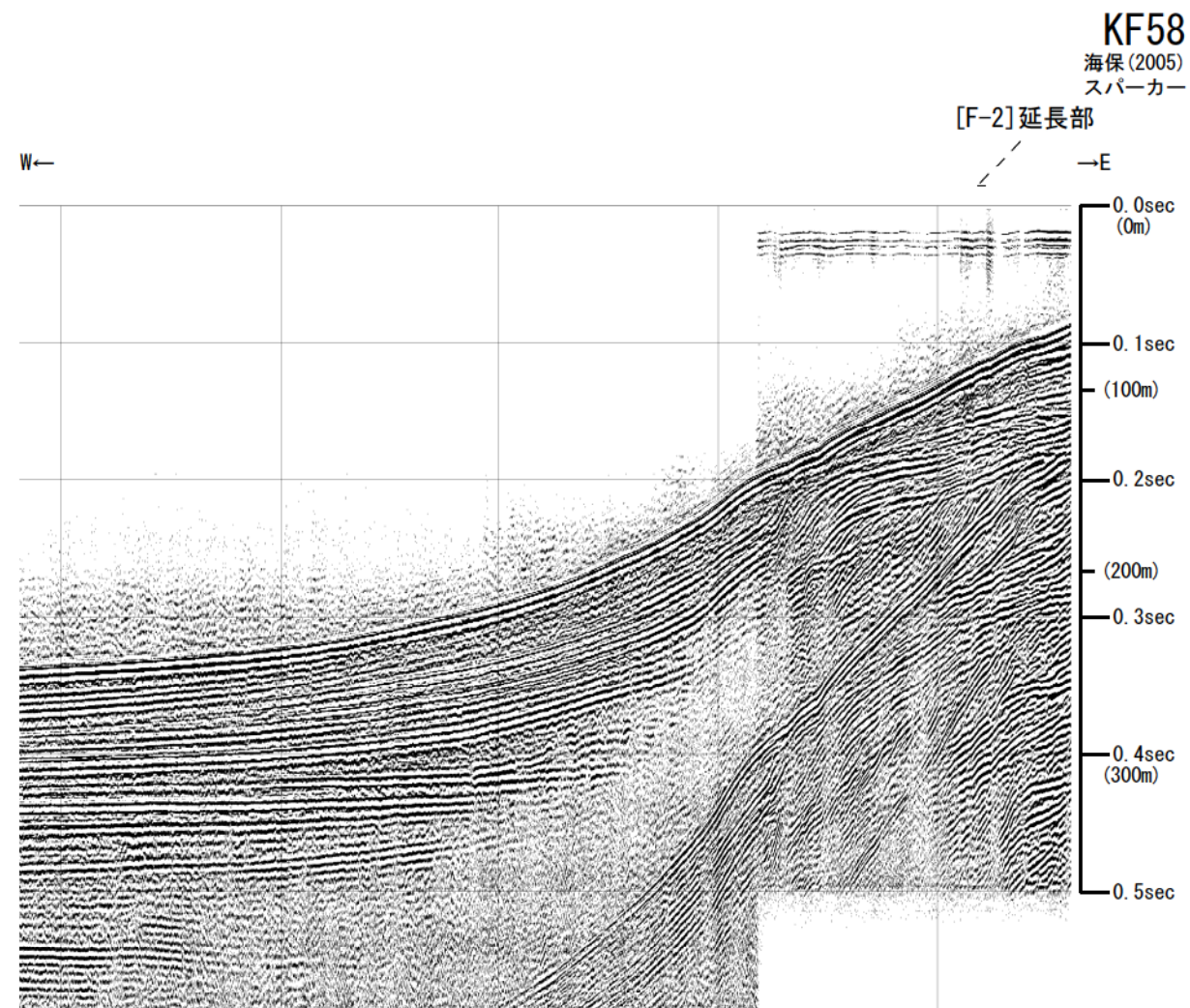
第1.3.57図(7) 安島岬沖断層, 和布一干飯崎沖断層, 甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (G-47BM)



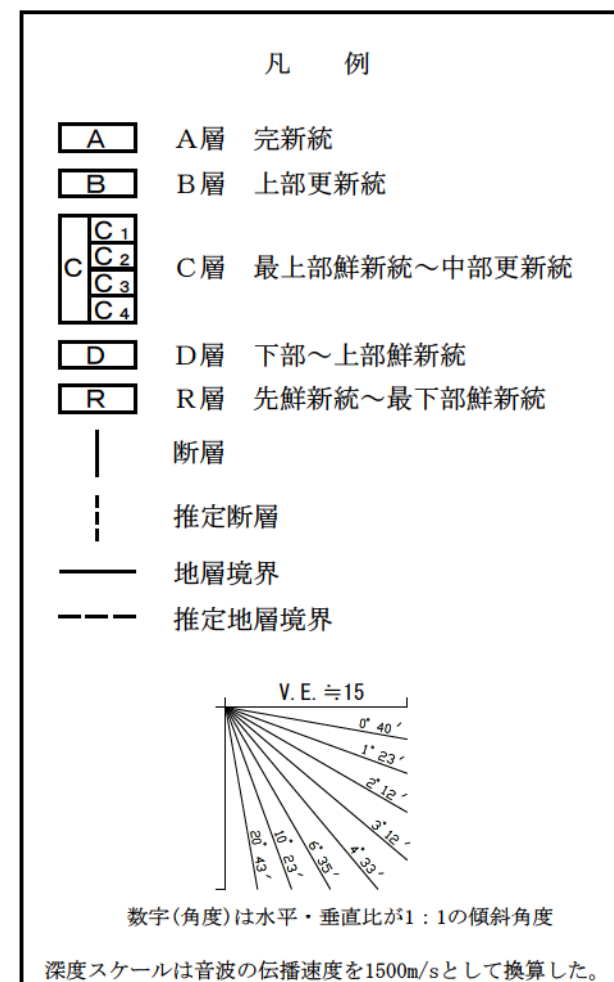
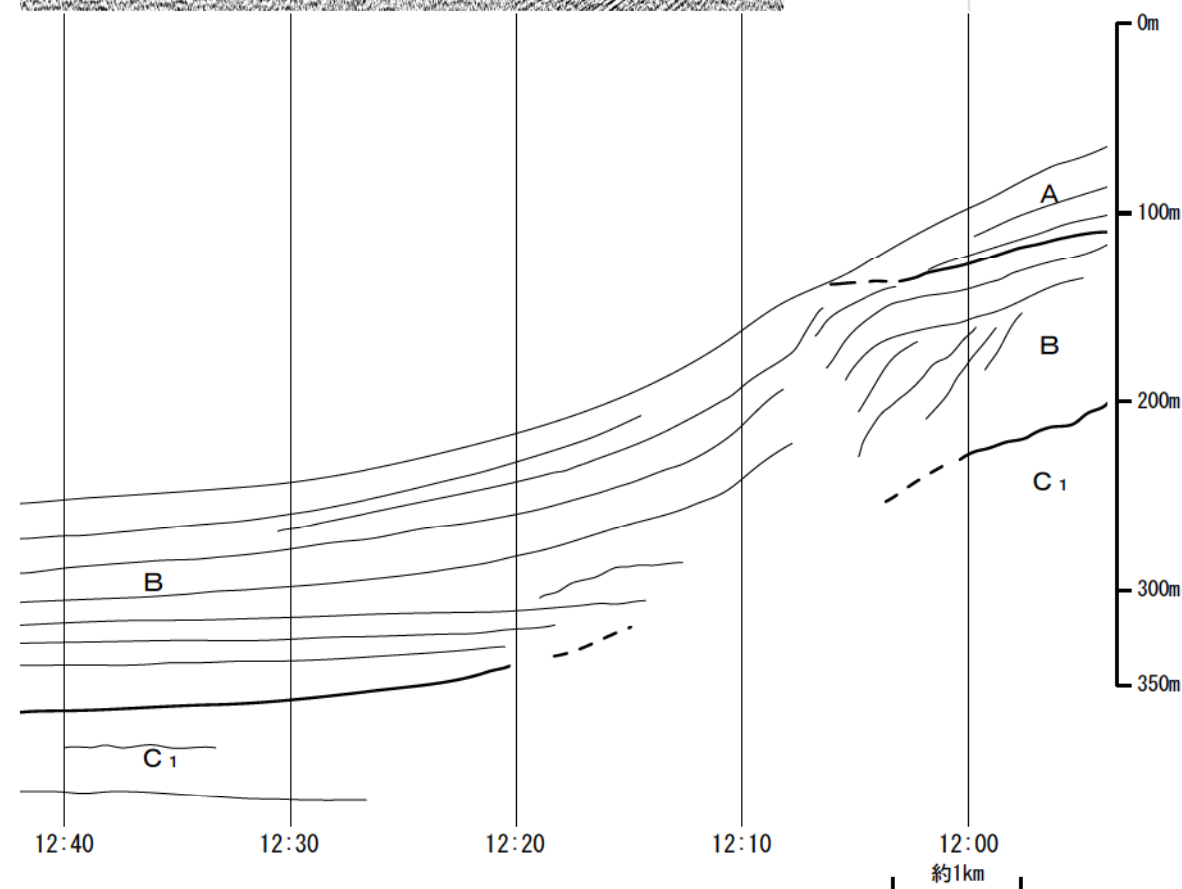
第1.3.57図(8) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBWS2)



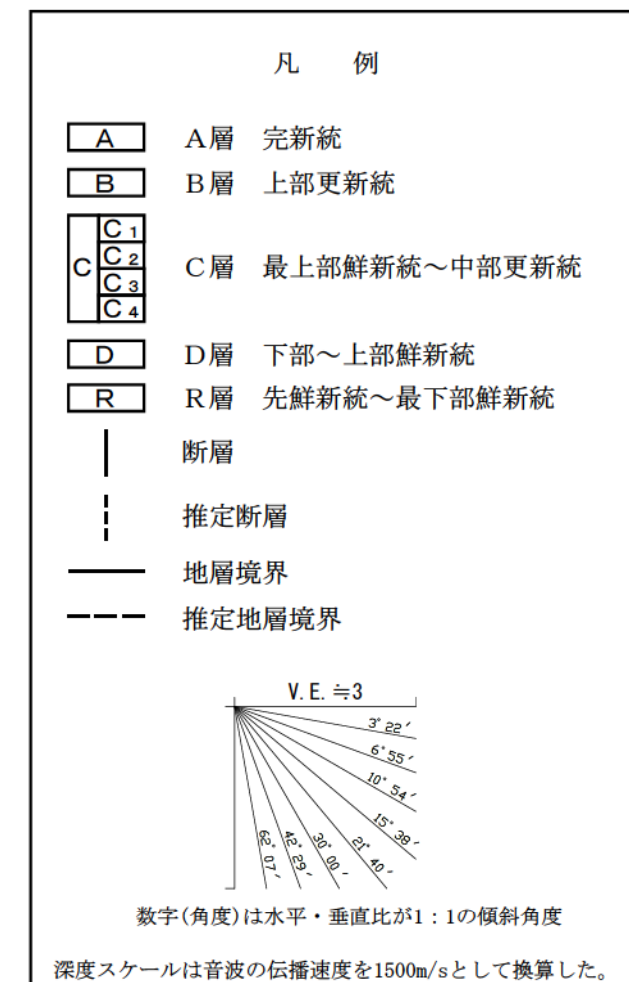
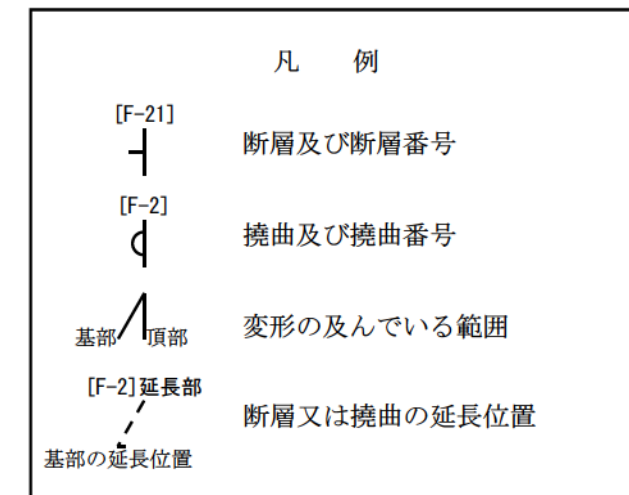
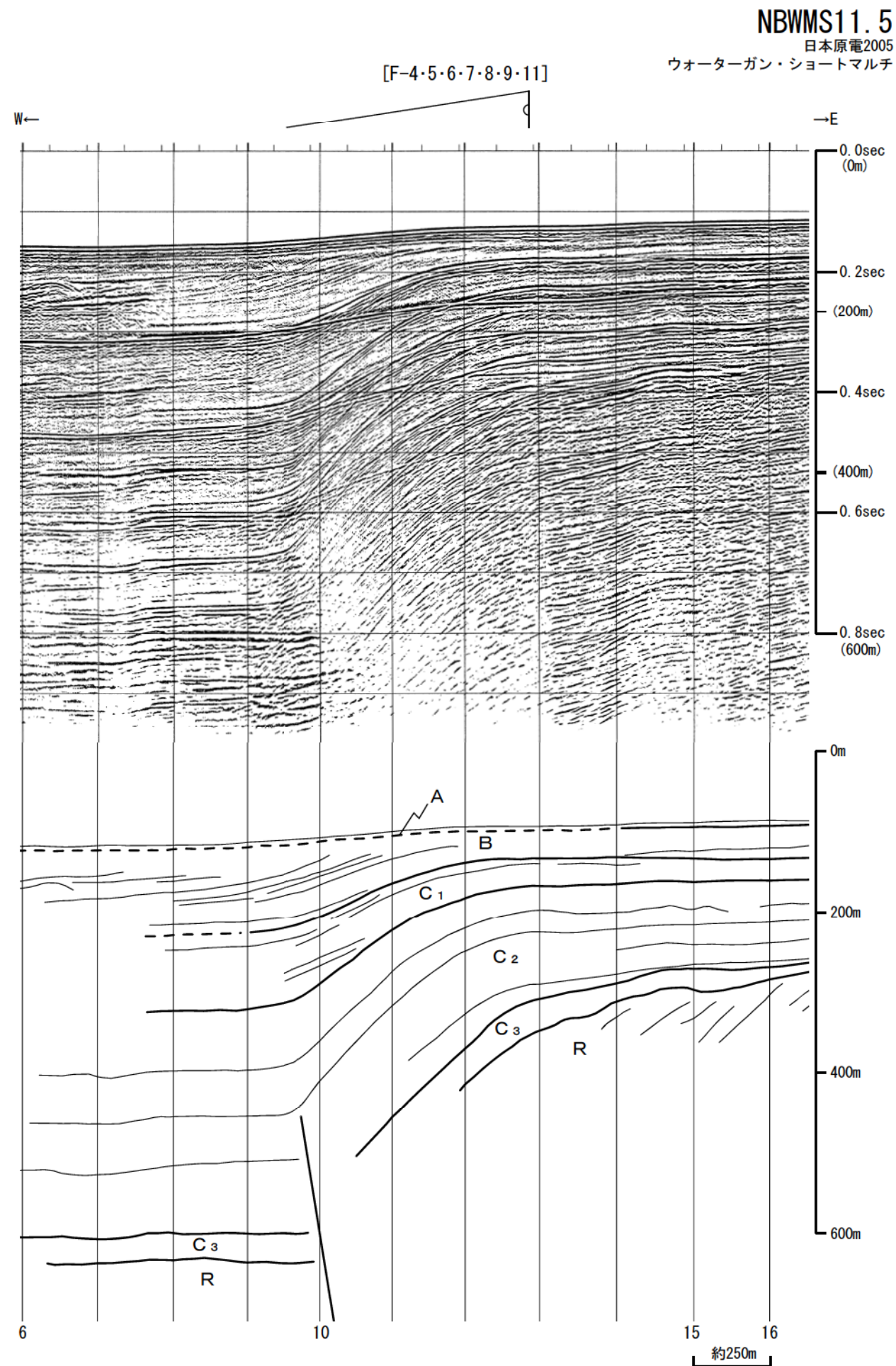
第1.3.57図(9) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBWS5)



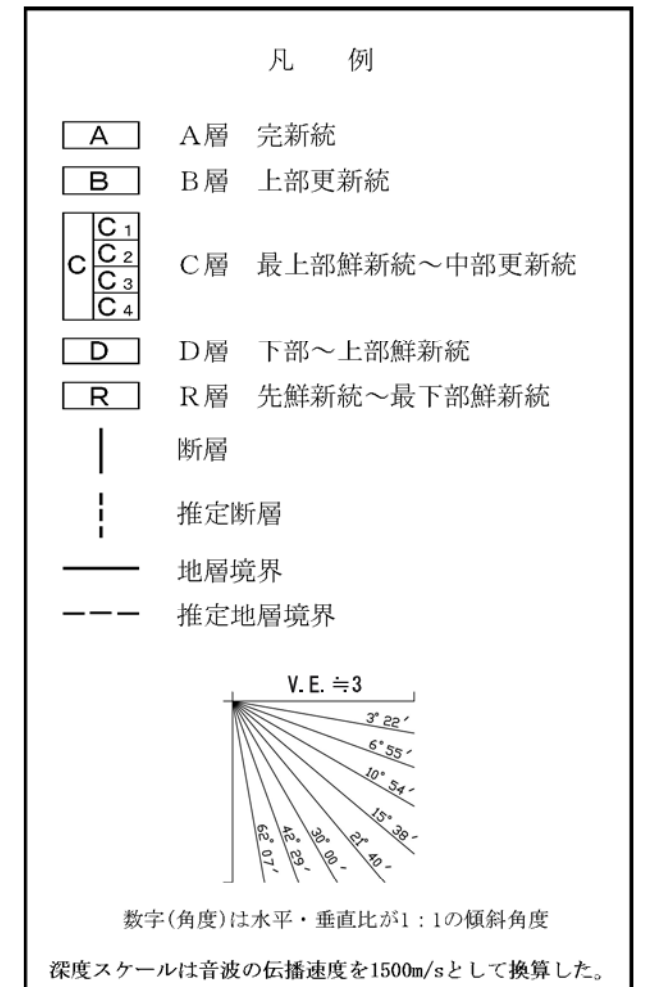
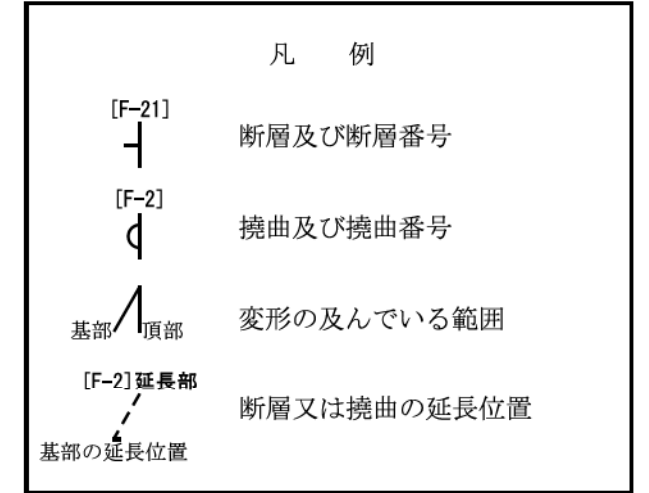
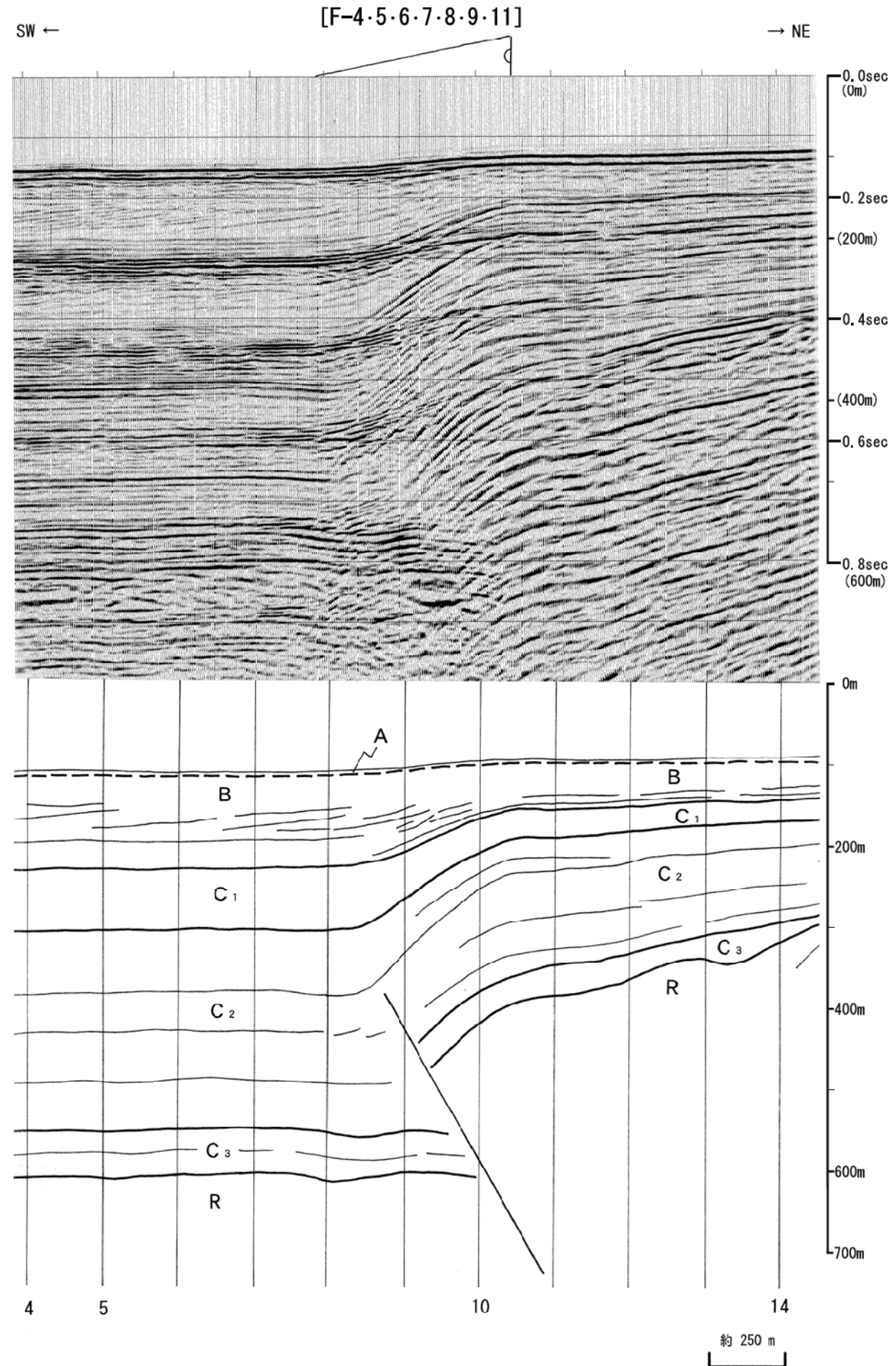
音波探査記録は、海上保安庁海洋情報部の沿岸海域海底活断層調査「加賀ー福井沖」の原資料（データ）を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

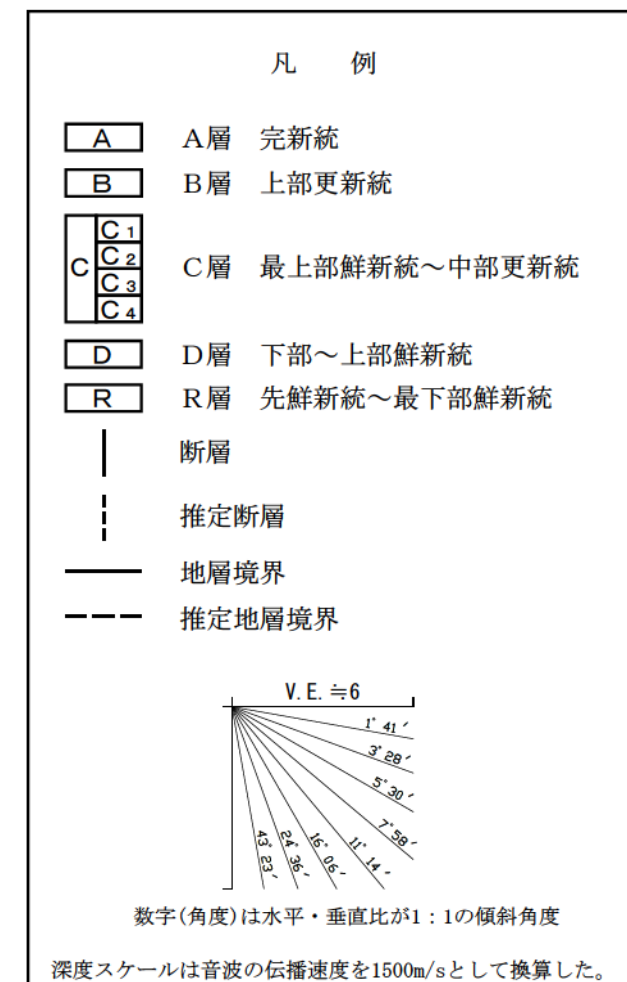
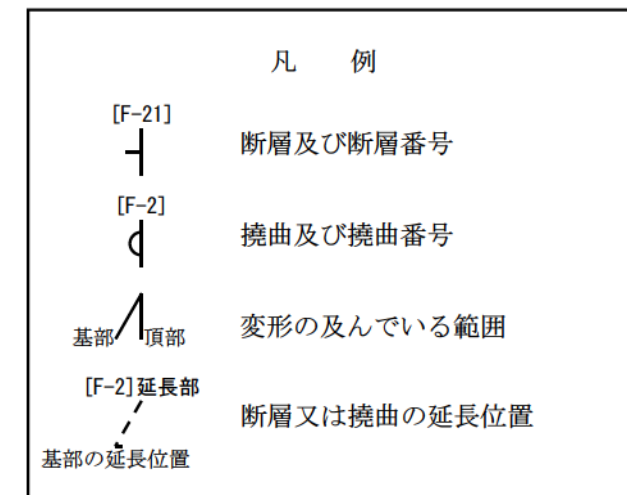
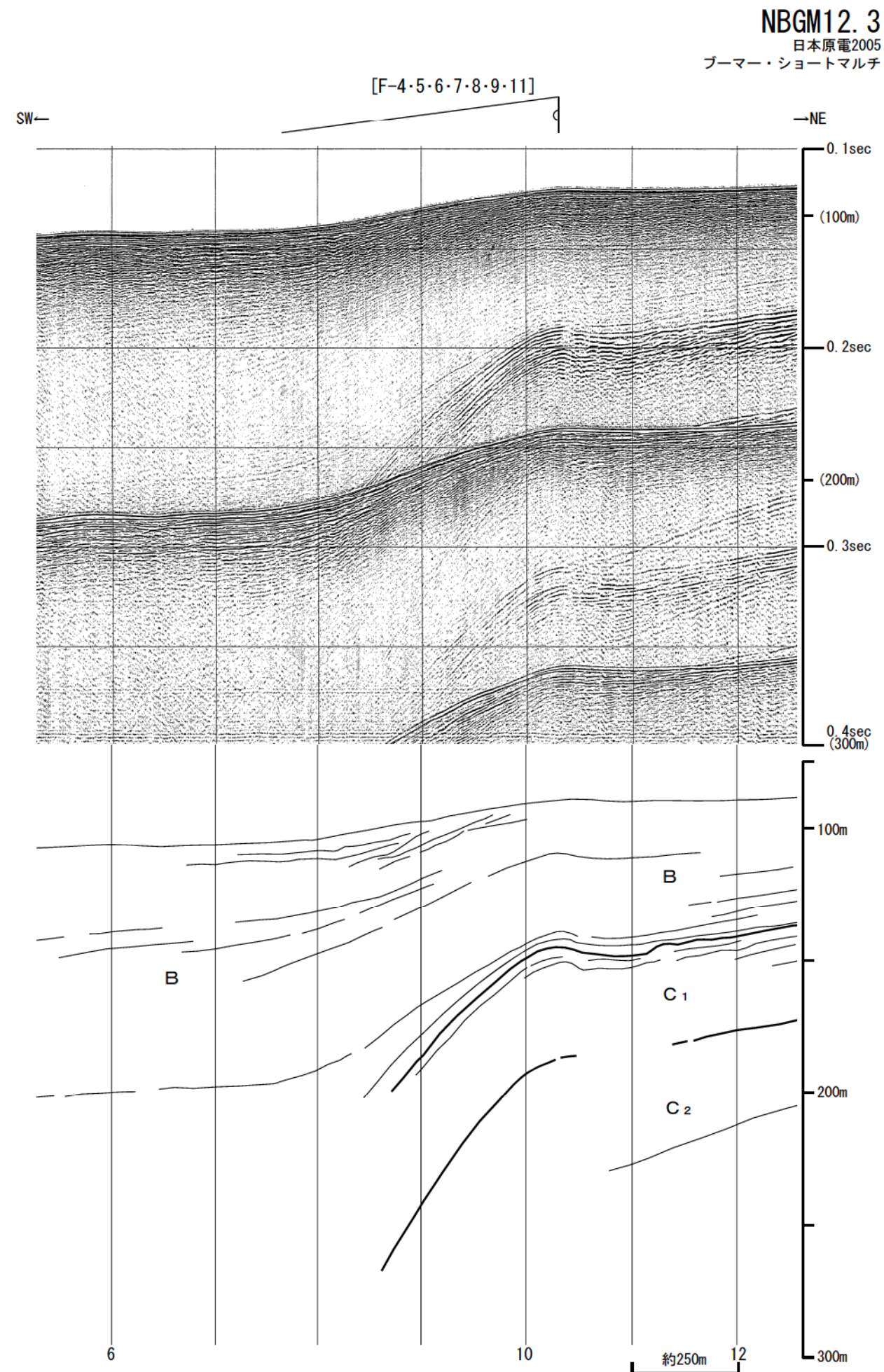


第1. 3. 57図(10) 安島岬沖断層，和布ー干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（KF58）

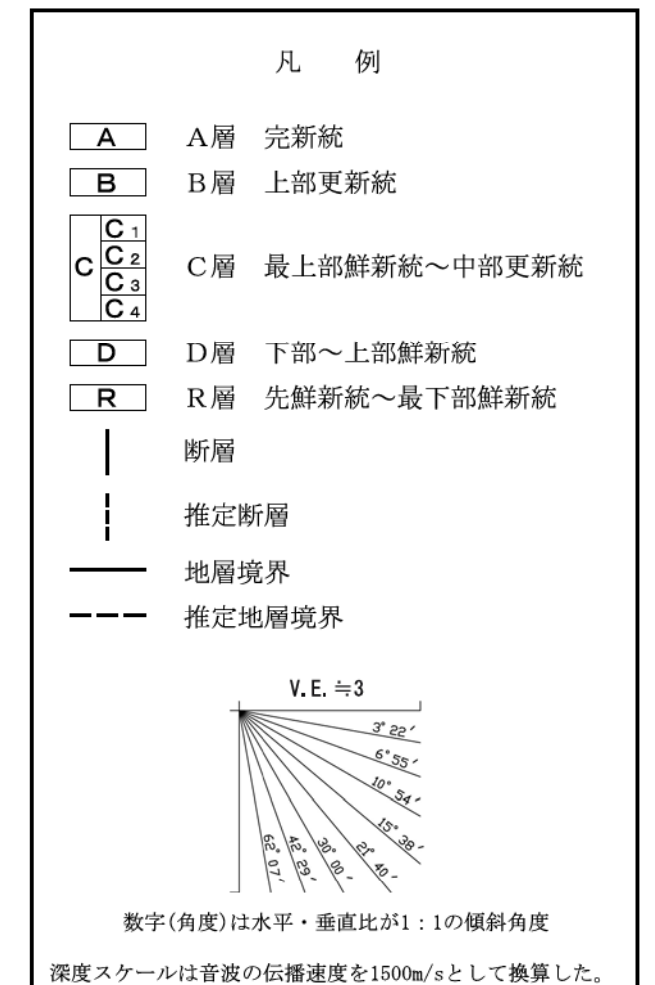
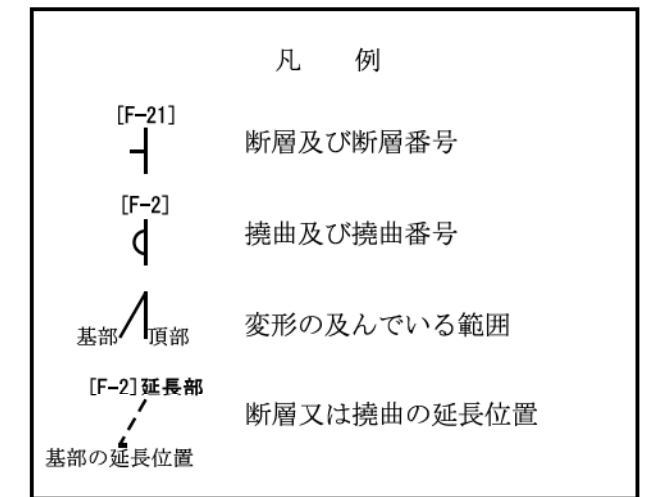
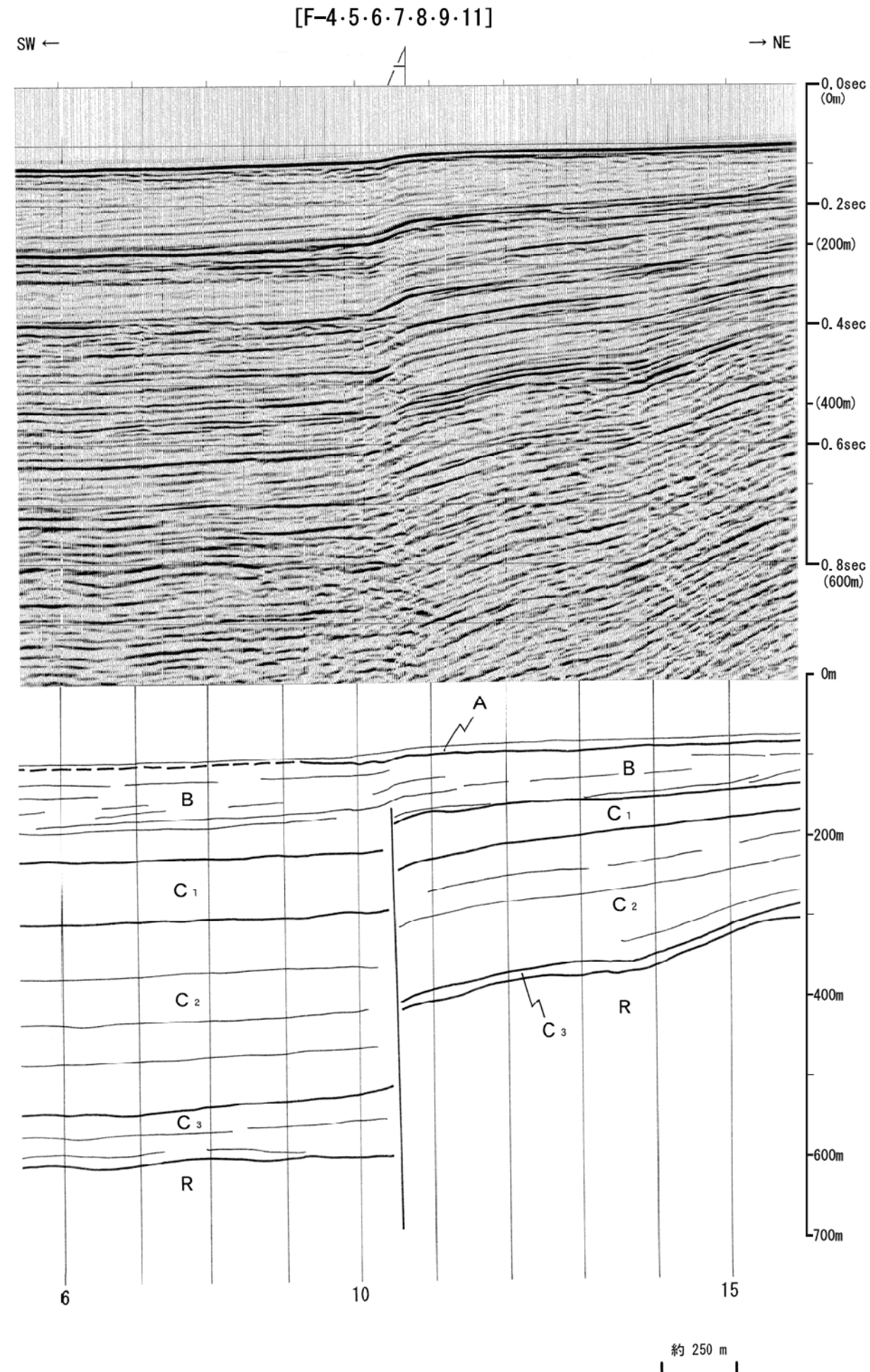


第1. 3. 57図(11) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBWMS11.5)





第1.3.57図(13) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBGM12.3)



第1. 3. 57図(14) 安島岬沖断層，和布一干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NBWM13)
6-1-354